



令和2年度
介護のしごと
魅力発信等事業
ターゲット別魅力発信事業
アクティブシニア向け
成果報告書

2021年4月30日朝日新聞社

目次

事業概要	3-6
事業の基本方針	3
事業全体像	4
事業実施スケジュール	5
事業実施体制	6
事業報告	7-55
企画委員会の開催	7-9
アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査	10-14
オンラインイベントの実施	15-28
マスメディアを活用した情報発信	29-34
インターネットを活用した情報発信	35-54
ふくしかいご.jpへの送客	55
成果報告	56-58
KPIの達成状況	56
事業の効果	57-58

基本的な考え方

高齢化により人口構造は変化し、若者が高齢者を支える従来の社会から、元気高齢者が支え手に回る社会への展開が求められる状況となっている。人手不足の時代に対応したマネジメントモデルの構築として業務の洗い出しと切り分け・役割分担が必要とされており、特に周辺業務における元気高齢者の活躍が期待されている。人生100年時代が叫ばれる中、高齢者＝支えられる側というイメージからの脱却(パラダイムシフト)を起こすアクティブシニアの国民運動にする必要があると考えられる。

事業対象者の設定

メインターゲット

時間やお金にゆとりのあるアクティブシニア世代

- 福祉・介護の周辺業務の担い手として期待される世代
- 介護の仕事に携わることで得られる以下のようなメリットを訴求
 - 地域貢献
 - 介護予防
 - 将来の備え
 - キャリア活用
 - セカンドライフの充実等
- ターゲットのインサイトを分析したうえで、より効果的な手法・手段を用いて訴求する



セカンドターゲット

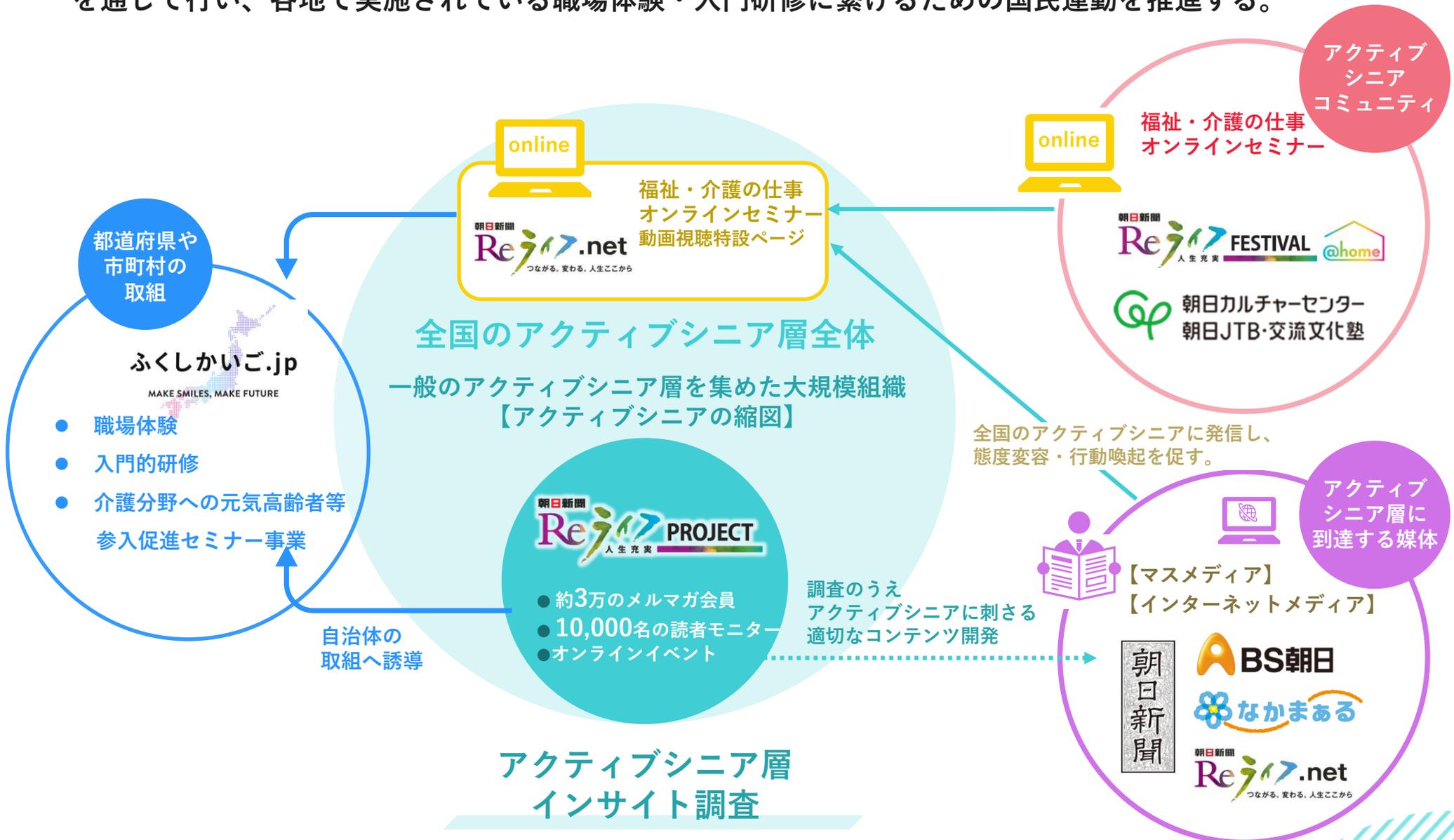
介護事業者

- アクティブシニアの活躍の受け皿として機能する介護事業者
- 業務の洗い出しと切り分け・役割分担の必要性、特に周辺業務におけるアクティブシニアへの機会創出の意識向上を目的とする



事業全体像

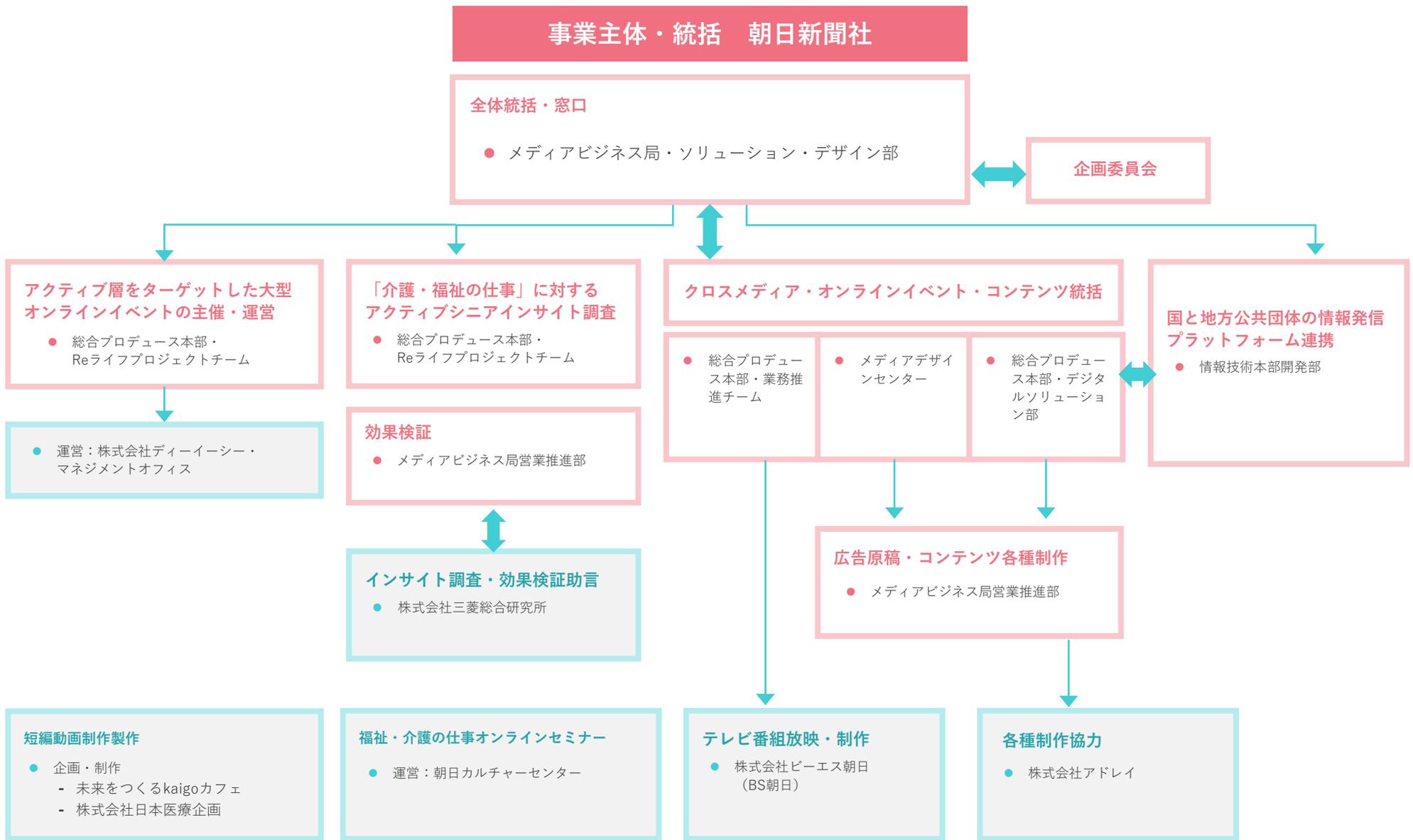
大規模アクティブシニア組織を活用し、介護・福祉の仕事の魅力発信をメディア事業とオンラインセミナーを通じて行い、各地で実施されている職場体験・入門研修に繋げるための国民運動を推進する。



事業概要

事業実施スケジュール

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画委員会		第1回 企画委員会 10月27日		第2回 企画委員会 12月9日			第3回 企画委員会 3月24日
アクティブシニア インサイト調査				定量調査 12/9～1/28 インターネット調査		定性調査 2/6,7 グループ インタビュー	
オンラインイベントの実施	Reライフフェス1回目 9月19～21日 *3/31までアーカイブ			朝日カルチャーセンターオンライン講座 12/22,1/19,1.28,2/8,2/22 *アーカイブ掲載			Reライフフェス2回目 2月27,28日 *3/31までアーカイブ
マスメディアを 活用した情報発信			新聞掲載 11月11日		新聞掲載 1月31日	新聞掲載 2月27日	BS朝日特別番組 放送日3/14
インターネットを 活用した情報発信				周辺業務の短編動画11本制作 12月～2月			
				なかまある「これからのKAIGO」記事掲載 *12月～3月まで随時更新			
				Reライフ.net「これからのKAIGO」記事掲載 *12月～3月まで随時更新			
ふくしかいご.jpへの送客	ふくしかいご.jpへの送客 *令和3年3月まで随時						
効果測定			Jモニター 調査		Jモニター 調査	Jモニター 調査	ブランドリフト調査 3/15～23



企画委員会の開催

企画委員メンバー

有識者



川邊万希子氏

- 株式会社三菱総研所ヘルスケア・ウェルネス事業本部ヘルスケア・データ戦略グループ主任研究院員



町亞聖氏

- フリーアナウンサー、ジャーナリスト

福祉・介護の仕事等実践者



田中伸弥氏

- 社会福祉法人ライフの学校理事長



馬場拓也氏

- 社会福祉法人愛川舜寿会常務理事

職能・教育団体



高瀬比左子氏

- 特定非営利活動法人
未来をつくるkaigoカフェ代表

アドバイザー

アクティブシニア介護就労事業実践者

星野光彦氏

- 株式会社日本医療企画

アクティブシニア有識者

中村啓一

- 朝日新聞社Reライフプロジェクトプロデューサー

※アドバイザーは実行委員会のテーマによってヒアリングし意見を仰ぐ。

企画委員会の開催

第1回

開催日時	令和2年10月27日（火）15時30分～17時00分
出席者	（委員）川邊委員、高瀬委員、田中委員、馬場委員 ※町委員は10月26日に個別ヒヤリングを実施 （事務局）朝日新聞社吉田、神出、平澤、松本
議題	事業実施の趣旨説明、Reライフ読者会議先行アンケート調査の報告
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● アクティブシニアを活用していくためには自治体との協働が重要。行政が使う「介護助手」というネーミングは、「三大介助」という固定化されたイメージにつながる。色々な業界の知恵が必要だと思う。 ● 年齢が高い方ほど介護の仕事は「キツくて大変」というイメージが強いと思うので、「マイペースに自分の特技が生かせる場」ということをアピールする必要がある。 ● 施設側が周辺業務を細分化できていない。採用のミスマッチが起きる前に、事業者側も取組が必要。 ● 周辺業務の内容を作業分解して、多角的・重層的なケアが成立していることを伝えると良い。イラストやデザインを多用して、仕事の内容を具体的に見せると良いのではないかな。

第2回

開催日時	令和2年12月9日（水）13時00分～15時00分
出席者	（委員）川邊委員、高瀬委員、田中委員、馬場委員、町委員 （オブザーバー）厚生労働省鈴木様、宜野座様、朝日新聞社Reライフプロジェクト中村 （事務局）朝日新聞社岩佐、神出、平澤、松本、川音
議題	事業進捗の報告、コンテンツ内容に関する意見交換
主なコメント	<ul style="list-style-type: none"> ● 広報内容がアクティブシニア、施設、自治体の3者に伝わると良い。特にReライフ読者会議メンバーに対して実施する調査結果が自治体にも伝わるようにしてほしい。 ● Reライフフェス@homeの動画を見たシニアの方から、「介護施設の面接に行った」という連絡をいただいた。結局施設側から連絡が戻ってこないそうだ。事業者側への啓発も大切だと感じた。 ● BS朝日の内容は、コロナ禍の状況にあっても、変わらずエッセンシャルワーカーが動き続けていることや、福祉・介護の現場で覚悟を決めてコミュニティを紡ごうとしている姿を表現してほしい。番組はアーカイブ化できると良い。 ● ボランティアでは続かないので、有償でやる必要がある。民間だけでは限界があるので、行政にいかに関わってもらうかが課題。

企画委員会の開催

第3回

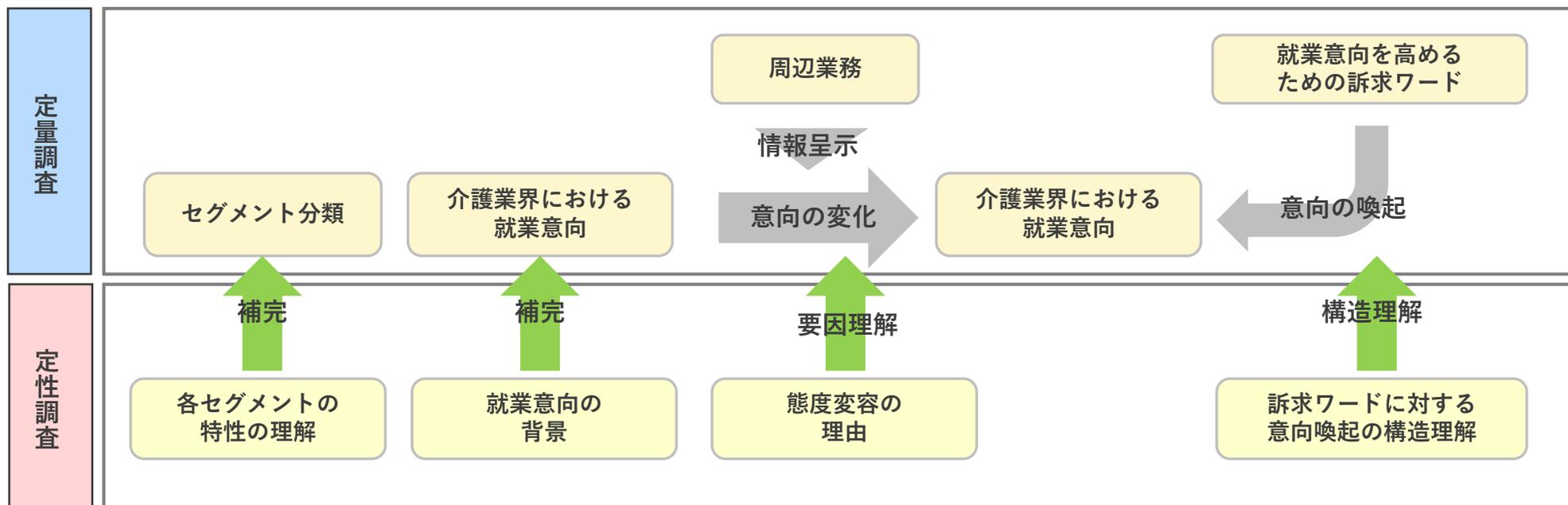
開催日時	令和3年3月24日（水）13時00分～14時30分
出席者	（委員）川邊委員、高瀬委員、田中委員、馬場委員、町委員 （オブザーバー）厚生労働省鈴木様、朝日新聞社Reライフプロジェクト中村 （事務局）朝日新聞社神出、平澤、松本、川音
議題	事業成果の報告、意見交換
主なコメント	<ul style="list-style-type: none">● シニア向けのメディア選定については、特に地方では紙媒体が響くようだ。地域差もあるが新聞、回覧板、自治体の広報誌はよく見られているので、媒体選定は重要。● シニアへのコミュニケーションとして「特技を生かす」が有効だという報告があったが、もともと仕事をしていない主婦層は特技がないと言う方も多いため、「主婦として家事に取り組まれているのであれば、どのような方でも活躍できます」や「生活支援以外にレクや趣味があればなお生かされます」という発信も必要だ。● 本事業を通じてタレントなど普段介護と馴染みのない方とともに発信することの意義を感じた。特にシニア本人の目線で語っていただくと効果が高いと思う。● 数が増える団塊の世代に早めに訴求すべき。第2の人生で何をやろうかと考える時に、「介護」や「周辺業務」という仕事が明確になっていると就職につながるのではないか。● 全国各地の地域包括支援センターや介護労働安定センターを活用してはどうか。特に団塊世代の男性は地域に居場所がない人が多いと思うので、そうした方々をターゲットの中心に置いてよいと思う。

アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査

本調査・研究や企画委員との検討を経て情報発信切り口や内容（コンテンツ）を開発するため、約3万人のアクティブシニアの組織(Reライフプロジェクト)を活用したインターネット調査（定量調査）および同組織を活用したアクティブシニア層を集めたグループインタビューの実施（定性調査）を実施した。

リサーチフレーム

- 定量調査：Reライフ読者会議メンバーを対象にインターネット調査を実施。
[期間]2020年12月9日（水）～2021年1月28日（木）
[回答数]440（うち50～79歳の回答数は322）
- 定性調査：定量調査回答者の中から就業意欲またはボランティア参加意向がある人12名を選定しグループインタビューを実施。
[実施日]2021年2月6日（土）～2021年2月7日（日）

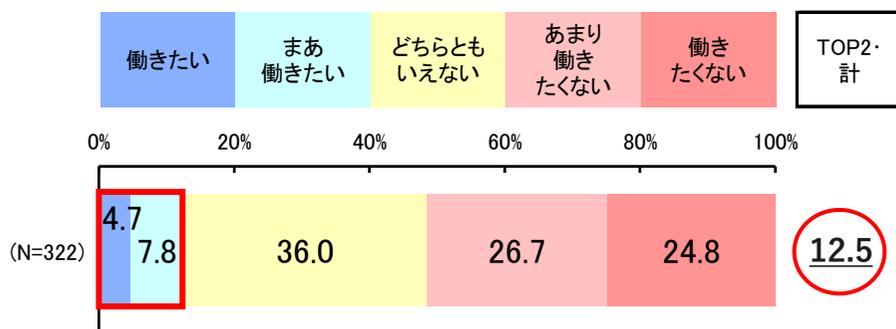


アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査

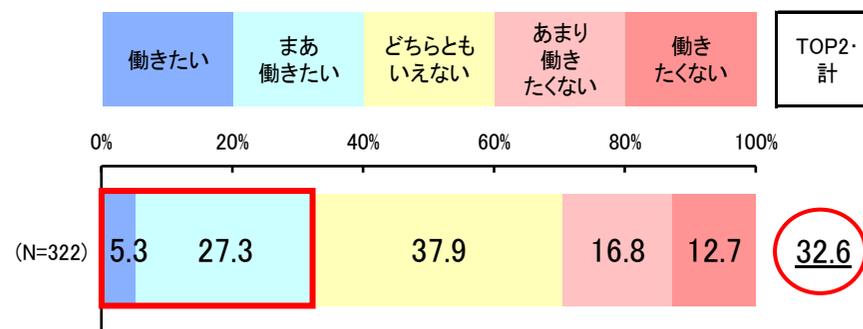
周辺業務の呈示による意識変容

アクティブシニアを性格により4つのタイプに分類し、周辺業務を呈示する前と後での介護の仕事に対する意識変容を調査したところ、呈示前後で**介護の仕事に対する関心・意欲が大きく変化しました。**

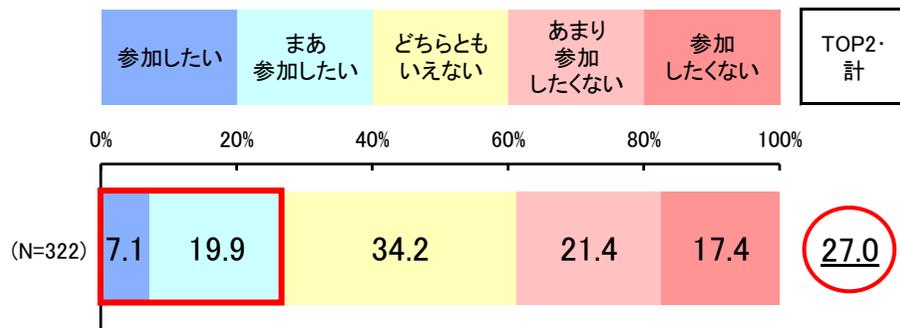
Q. 【周辺業務呈示前】あなたは今後、介護の現場で働きたいと思いますか。



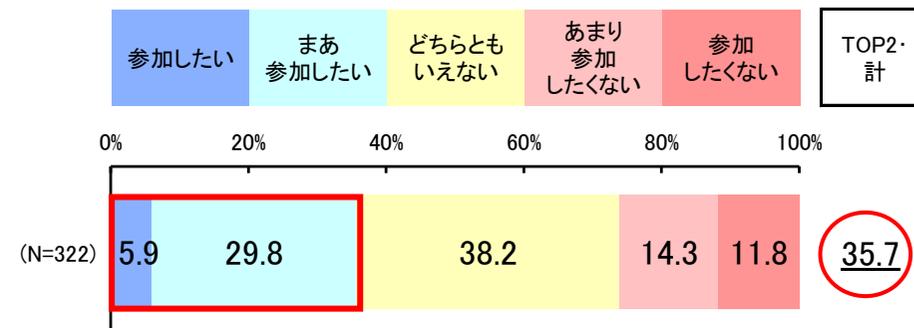
Q. 【周辺業務呈示後】周辺業務に関することをお聞きになって、あなたは今後、介護の現場で働きたいと思いますか。



Q. 【周辺業務呈示前】地域の介護施設などで、職場体験や入門的研修に参加してみたいと思いますか。



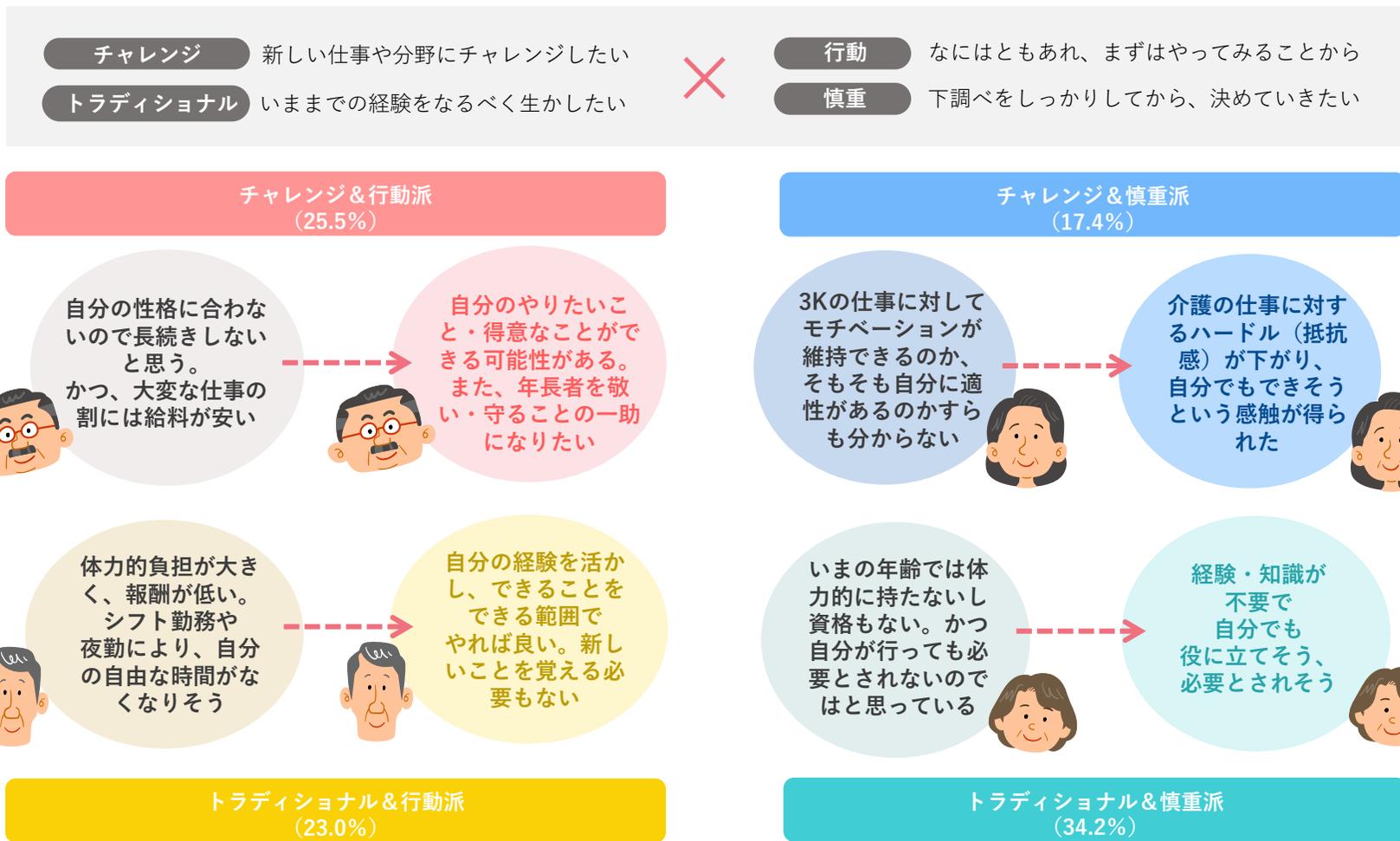
Q. 【周辺業務呈示後】周辺業務に関することをお聞きになって、地域の介護施設などで、職場体験や入門的研修に参加してみたいと思いますか。



アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査

周辺業務の呈示による意識変容

アクティブシニアを性格により4つのタイプに分類し、周辺業務を呈示する前と後での介護の仕事に対する意識変容を調査したところ、タイプごとに魅力を感じるポイントは異なったものの、**すべてのタイプでポジティブな変化が生じました。**

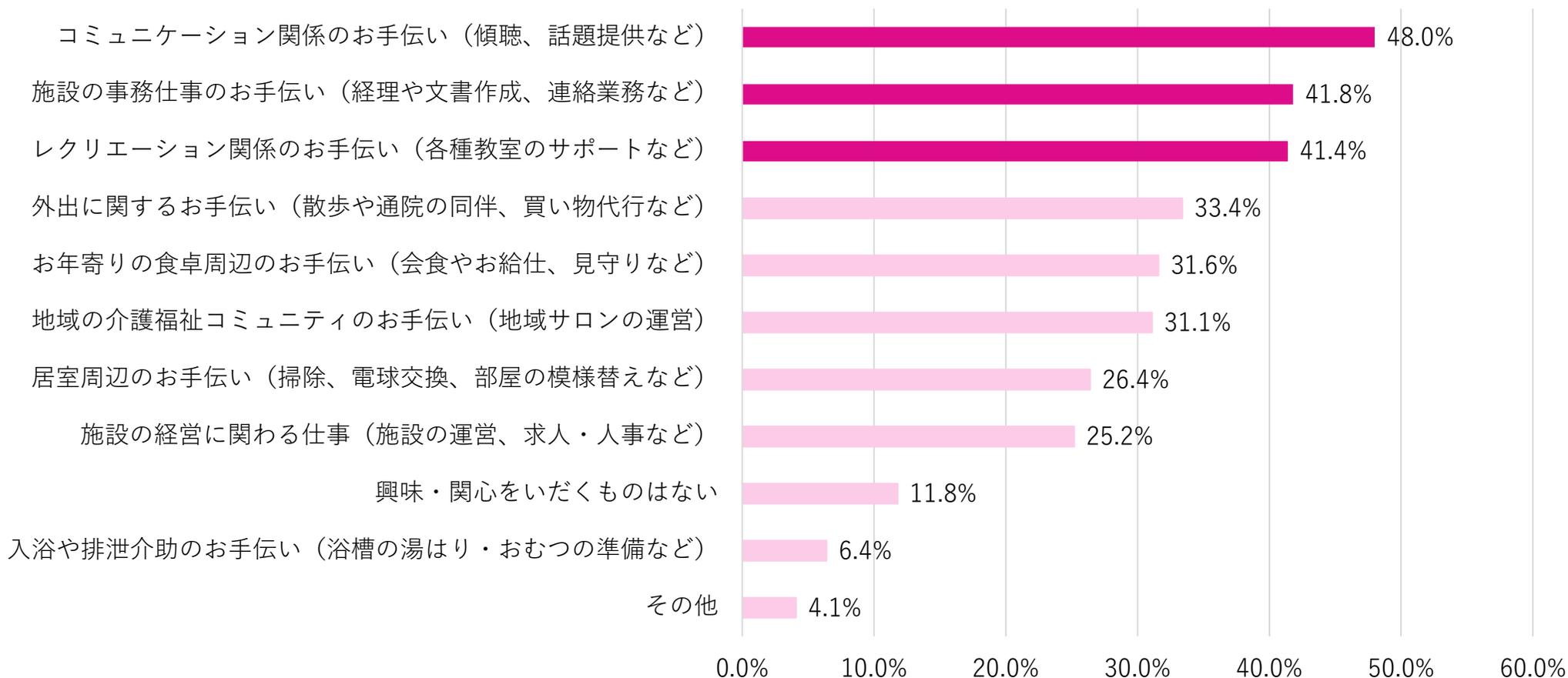


アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査

関心の高い周辺業務の種類

介護の仕事における周辺業務の中で興味・関心があるものをたずねたところ、傾聴や話題提供などコミュニケーションに関わる業務や、軽運動や各種教室のサポートなど、介護レクリエーションへの関心が高いことがわかりました。

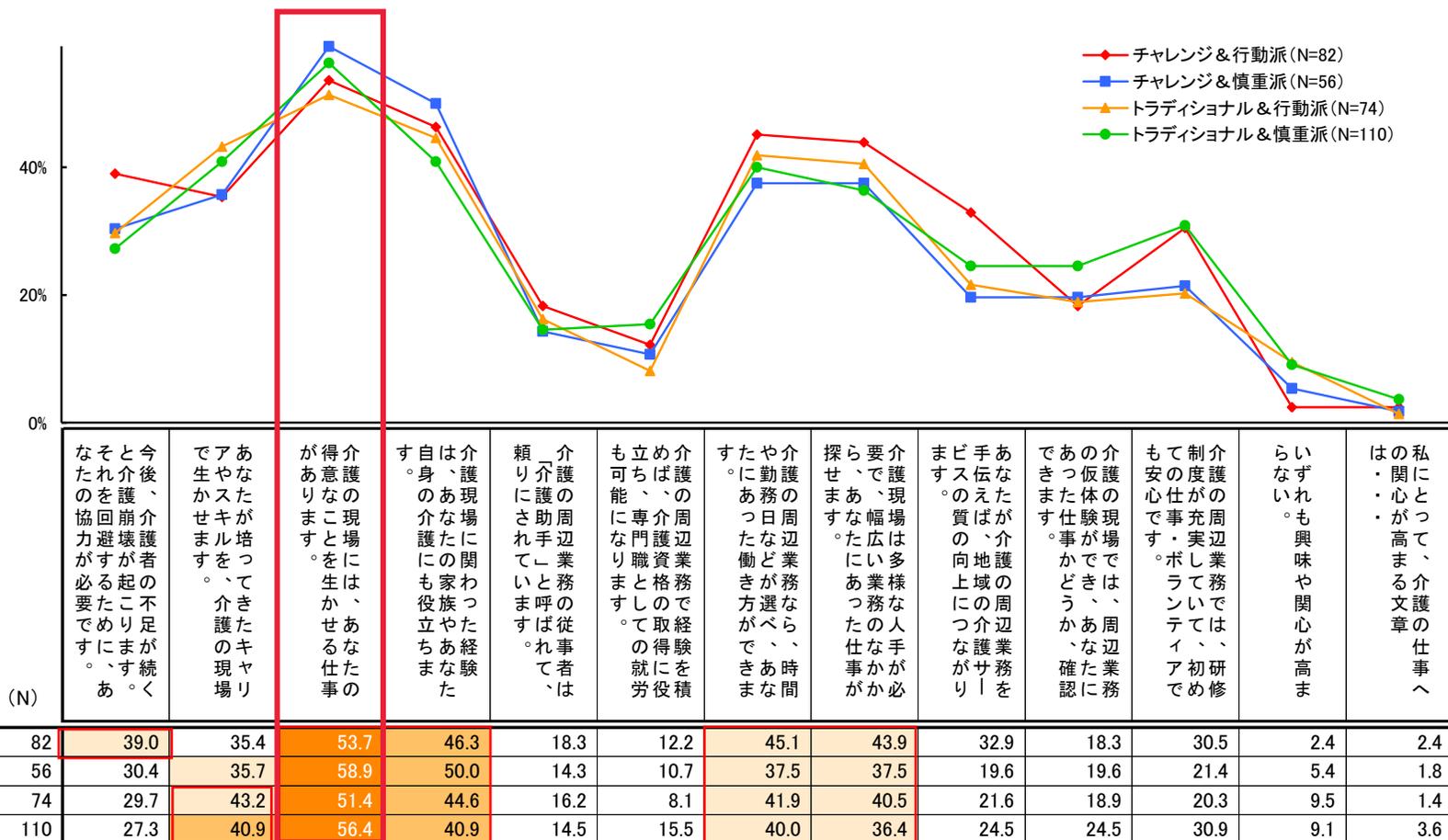
(複数回答)



アクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査

介護の仕事に興味がわく「魅力ワード」

介護の仕事に興味がわく「魅力ワード」についてたずねたところ、全てのタイプで最も支持されたのは「介護の現場にはあなたの得意なことを生かせる仕事があります」でした。



■: 1位 ■: 2位 ■: 3~5位 (N=30以上)

オンラインイベントの実施

Reライフフェスティバル@home

アクティブシニアのための大規模オンラインイベント「Reライフフェスティバル@home」にて福祉・介護の仕事の魅力を発信するため、著名人を活用したオンラインセミナーを開催しました。

- **第1回 令和2年9月19～21日**
 テーマ：新田恵利さんと学ぶ福祉と介護の魅力 セカンドキャリアのための介護への備えと学び
 出演者：新田恵利さん、町亞聖さん、田中伸弥さん
 視聴数：14,752PV、8,359UU
- **第2回 令和3年2月27日、28日**
 テーマ：“話す”と“聴く”から考える介護コミュニケーションの魅力
 出演者：林家たい平さん、町亞聖さん
 視聴数：15,685PV、11,514UU

※視聴数は令和3年3月31日時点

第1回特設ページ



紙上採録

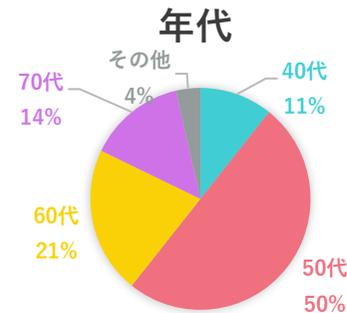
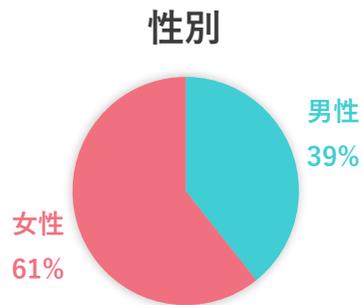


第2回特設ページ

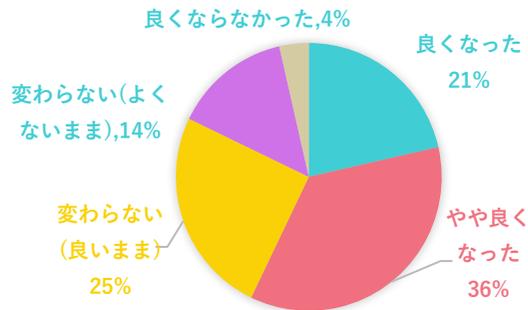


オンラインイベントの実施

Reライフフェスティバル@home 第1回（令和2年9月19～21日）アンケート結果（n=28）



本プログラムを視聴して介護のしごとに対するイメージに変化はありましたか



本プログラムをご覧になって、あてはまるものをお選びください（複数回答可）

話の内容が面白かった	13
話題にしたい・誰かに話したい	9
福祉・介護の仕事の理解が深まった	15
福祉・介護の仕事についてインターネットで調べてみたい	10
福祉・介護の職場体験・入門的研修などに参加してみたい	6
福祉・介護を仕事の選択肢として考えるようになった	4
福祉・介護の仕事を支援したい	12
この中にはない	3

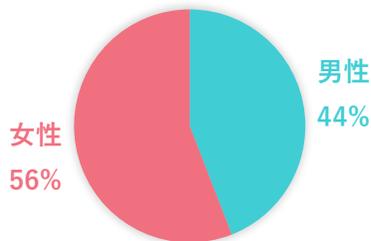
自由回答抜粋

- 私自身も高齢単身の母親がいて80歳を超えてから親族、兄弟の他界が、重なった事もあるのか身体も気持ちも弱くなり、現在はデイケアに通う日々です。 **介護には以前より非常に興味があり、且つ現在住んでいる街が非常に好きで今後何か私でも協力出来る事が無いか一歩踏み出してみたいと改めて感じました。**（50代男性）
- 田中さんのように若い世代の方が、利用者をパートナーと呼んで、ライフヒストリーを尊重して学ぶ姿勢や地域や異なる世代間とのつながりを創っておられる姿勢に感銘を受けました。私自身も施設に入っていた母親を家で介護し始めるため、色々な介護のノウハウなども学べたら助かると思います。新田さんの「言いふらし介護」も参考になりました。 **一人で抱え込まず介護を通して色々な人とつながる機会にもなるのだとプラスの面に気づかされたと思います。**企画をして頂きありがとうございました。（60代女性）
- **介護のイメージが変わってきました。**以前は家族で介護をするのがベストと思っている方が多かったように思います。義父母の介護の経験があり、家族だけ、介護施設の職員だけでは見きれないの言葉に共感です。プログラムを見て周辺の皆で支え合う必要があるんだと、介護の現場も変わりつつあると感じました。（70代女性）

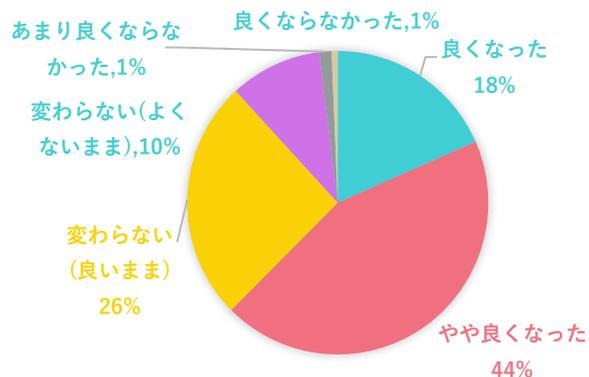
オンラインイベントの実施

Reライフフェスティバル@home 第2回（令和3年2月27日、28日開催）アンケート結果(n=152)

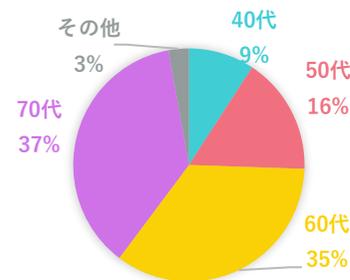
性別



本プログラムを視聴して介護のしごとに対するイメージに変化はありましたか



年代



本プログラムをご覧になって、あてはまるものをお選びください（複数回答可）

話の内容が面白かった	88
話題にしたい・誰かに話したい	33
福祉・介護の仕事の理解が深まった	90
福祉・介護の仕事についてインターネットで調べてみたい	8
福祉・介護の職場体験・入門的研修などに参加してみたい	13
福祉・介護を仕事の選択肢として考えるようになった	7
福祉・介護の仕事を支援したい	35
この中にはない	5

自由回答抜粋

- **今まで抱いていた介護へのイメージがすごい変わりました。** 遠ざけていた両親に会いに行こうと強く思いました。（40代男性）
- 良い話しが聞けました。これからもヘルパーとして、頑張ります。笑いを届けることができるヘルパーを目指します。（50代女性）
- 新卒以来32年間務めた会社をリタイアし、第二の人生を模索中です。**人のため、地域社会のために自分ができることを考えることができるプログラムでとても参考になりました。**ありがとうございました。（50代男性）
- いずれにしても人は世話をする、される、両方経験することになる。**自分もリタイアしたらそんな仕事をしてみたい。**今からでも勉強しようとおもいます。これから年寄りが多くなる時代に益々なることですから。すぐに仕事を探します。（60代男性）
- 大変聞きやすく、優しく解説してくれて、あっというまの時間でした。たい平師匠がよかったです。師匠の人柄がとてもよく伝わりました。介護という枠ではなくとも、話すと聴くの重要性が伝わりました。（60代女性）

オンラインイベントの実施

朝日カルチャーセンターでオンライン講座を実施

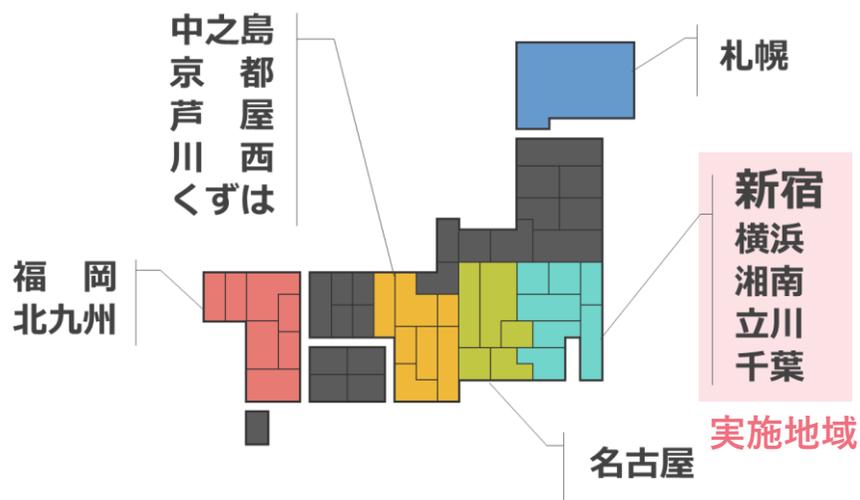
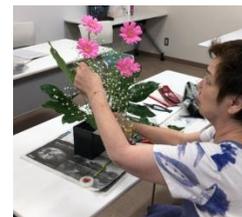
アクティブシニア層を中心とした受講生が学ぶ「朝日カルチャーセンター」（全国14か所、受講者数約15万人）と連携したオンライン講座を全5回開催。アクティブシニアが関心を抱くテーマを切り口に、介護の仕事の魅力を発信しました。配信後はアーカイブ動画をReライフ.netに掲載しました。

- 参加者数：事前登録数1,331人、当日視聴者数 739人（全5回計）

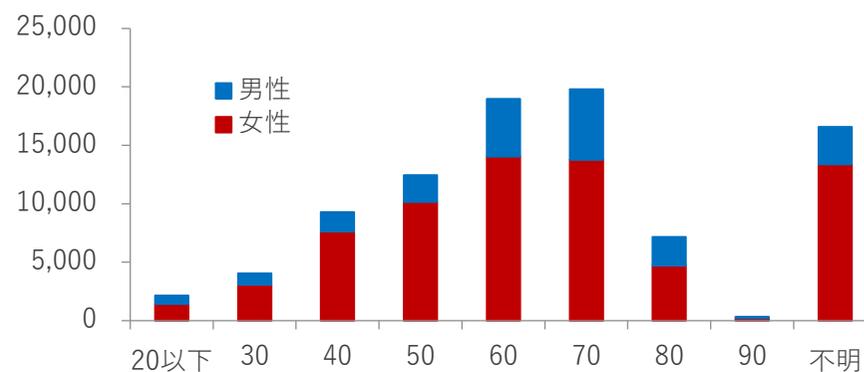


朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

全国の受講者数 約15万人



性別・年齢別 受講者数



オンラインイベントの実施

● 第1回朝日カルチャーセンター講座

日時	2020年12月22日 14:00～15:00
テーマ	1部「コロナ禍のフレイル予防 -寝たきりにならないための簡単エクササイズ-」 2部「新たな生きがいの発見 -介護のしごとが介護予防に-」
講師	理学療法士 井上 航 さん/和が家グループ代表 直井 誠 さん、シニアゲスト 林和美さん
告知	朝日カルチャー首都圏教室にチラシ設置 朝日カルチャーセンターTwitter・Facebook投稿 朝日新聞全国版夕刊に広告掲載 Reライフメールマガジン34,000通発信 なかまある告知記事
事前登録数	262件
参加者数	124件



《PR》オンライン講座「人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために」【主催：朝日新聞社メディアビジネス局】
理学療法士の井上航さんが、フレイル予防運動を紹介。後半では介護事業を展開する直井誠さんと介護のしごとが介護予防につながる実践例をお話します。
12月22日（火）14時～、Zoom無料配信。12月17日（木）締め切り。
https://www.asahiculture.jp/page/kaigo?utm_source=relife&utm_medium=email&utm_campaign=dec001
(朝日カルチャーセンターの公式サイトに遷移します。)

12/16Reライフメール

朝日新聞社メディアビジネス局主催 本プログラムは介護のしごとと魅力発信事業「ターゲッ別魅力発信事業(アタビブシニア層向け)」として実施しています。(実施主体:朝日新聞社・厚生労働省補助事業)

人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために

2020年12月22日(火) 14:00～15:00 **Zoomを利用した、無料オンライン講座開催!**

※1部事前登録制です
※2部定額です。無料の告知記事もご用意しています

第1部 14:00-14:30
講師: 井上 航 (理学療法士)
テーマ: コロナ禍のフレイル予防 -寝たきりにならないための簡単エクササイズ-

第2部 14:30-15:00
講師: 直井 誠 (和が家代表)
テーマ: 新たな生きがいの発見 -介護のしごとが介護予防に-

お申し込み方法
お申し込み方法
お申し込み方法

お問い合わせ先
朝日新聞社メディアビジネス局
TEL 03-3344-2041 (月～土 10:00～17:00)

人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために

2020年12月22日(火) 14:00～15:00
Zoomを利用して、オンラインで開催!

人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすためには、体と心の両方の健康が大切です。講座では、理学療法士の井上航さんが、フレイル予防運動を紹介。後半では、介護事業を展開する直井誠さんと介護のしごとが介護予防につながる実践例をお話します。

第1部 14:00-14:30
講師: 井上 航 (理学療法士)
テーマ: コロナ禍のフレイル予防 -寝たきりにならないための簡単エクササイズ-

第2部 14:30-15:00
講師: 直井 誠 (和が家代表)
テーマ: 新たな生きがいの発見 -介護のしごとが介護予防に-

お申し込み方法
お申し込み方法

お問い合わせ先
朝日新聞社メディアビジネス局
TEL 03-3344-2041 (月～土 10:00～17:00)

朝日カルチャーセンター

「人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために」

2020年12月22日(火) 14:00～15:00

Zoomを利用して、オンラインで開催!

お申し込み方法
お申し込み方法

お問い合わせ先
朝日新聞社メディアビジネス局
TEL 03-3344-2041 (月～土 10:00～17:00)

朝日新聞全国版夕刊全2段 (12月7日～9日掲載)

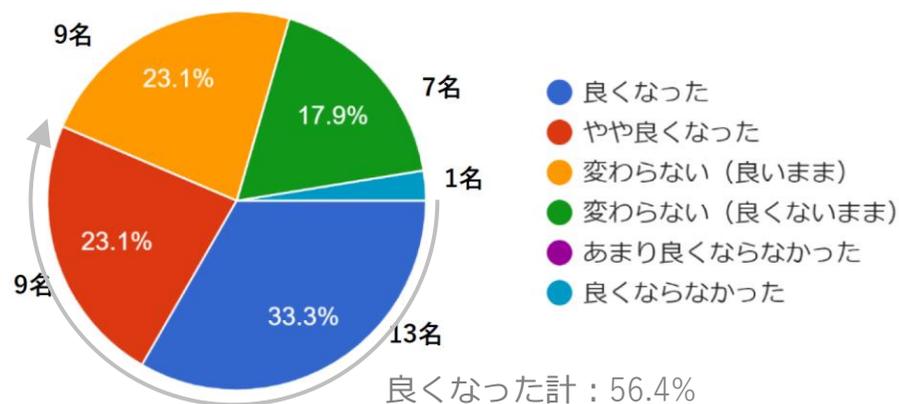
チラシ

なかまある告知記事

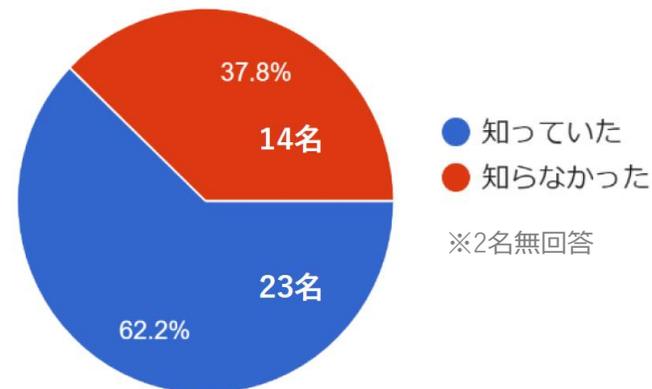
オンラインイベントの実施

● 第1回朝日カルチャーセンター講座 アンケート結果

Q. 今回のプログラムをご覧になって介護の仕事に対するイメージに変化はありましたか



Q. あなたは介護の周辺業務を知っていましたか



自由記述抜粋

- **介護に対しポジティブに考えられるようになった。**
- 時代によって介護という概念も変わってきたと感じた。
- アクティブシニアが増えると、より活動力のある生活が生まれるのではないかと感じました。元気な方から元気をもらう。支援している側もされる側もお互いに相乗効果で張りが出る…良いなと思います。
- 買い物そのものがデイサービスとして提供されていることは、様々な要素が含まれており、素晴らしいと思いました。
- これからが楽しみです。自分自身の介護への考え方を改革していきたいと思っており、この講座は有益だと思えます。
- 認知症デイを起ち上げたいので参考になりました。

オンラインイベントの実施

● 第2回朝日カルチャーセンター講座

日時	2021年1月19日 14:00～15:00
テーマ	地域デビューで輝くシニアライフ
講師	アモールファティ代表 羽吹 さゆりさん／シニアゲスト 川崎恵美さん・諏訪ゆきこさん
告知	朝日カルチャーセンターTwitter 投稿 朝日新聞朝刊に広告掲載 なかまある告知記事
事前登録数	168件
参加者数	109件

本プログラムは介護のしごと魅力発信事業～ターゲット別魅力発信事業（アクティブシニア層向け）～として実施しています。（実施主体：朝日新聞社・厚生労働省補助事業）

人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために

Zoomを利用した、無料オンライン講座開催

人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために、地域とのつながりや仲間との交流を。好評の無料オンライン講座、1月は二つのプログラムを開催します。興味のある方はどなたでも参加可能です。ぜひ、ご観覧ください。

（第2回）
1月19日火
14:00～15:00

地域デビューで輝くシニアライフ

2021年1月15日(火) 14:00～15:00

時代をこえて、みんなで交え合える地域づくりについて考えてみませんか。講師を務めるのは、お茶カフェや美容を通して元気になるための「日本女子大」など、地域の方が気軽に集まれる場所づくりを行う「羽吹さゆりさん」。地域で活躍されているシニアの方々にも登場していただき、地域デビューの経験や楽しみについて伺います。

羽吹さゆりさん（はぶき さゆり）
株式会社「あまもろファティ」代表取締役。介護福祉士、アモールファティ代表。心身の健康、地域での活動、介護福祉士としての活動について、地域デビューの経験や楽しみについて伺います。

（第3回）
1月28日水
14:00～15:00

趣味を生かして広がる交流

2021年1月25日(水) 14:00～15:00

趣味や特技は人生を豊かにするための出会いや交流のきっかけ。そして新たなキャリア形成にもつながります。心身ともに充実した人生を送るには、趣味や特技を活かして新しい出会いや交流のきっかけを掴むことが大切です。高本真生子さんを講師に迎え、そのテクニックを伺います。地域で続けてきたフラワーアレンジのスキルを高齢者施設などに生かしている方にも登場していただきます。

高本真生子さん（たかもまこと）
一般社団法人「もろアワーワーク」代表。5歳を病んだもろアワーワーク。現在は介護福祉士として活動中。介護福祉士としての活動や、趣味や特技を活かして新しい出会いや交流のきっかけを掴むことが大切です。

お申し込み方法
氏名、メールアドレス、電話番号、年齢、性別、居住地域、職業、講座を知りたいか、講師希望（同日複数可）、後援予定人数を記載の上、下記お申し込みの方で申し込みください。返信はメールでお送りします。
FAX 03-3344-4876
WEB <https://www.asahiculture.jp/page/kaigo>
※お申し込みは、お申し込みの日の1週間前までです。お申し込みの日の1週間前以降は、お申し込みの日の1週間前までです。お申し込みの日の1週間前以降は、お申し込みの日の1週間前までです。

Reライフ.netとなかまあるで特集公開中「#これからのKA | GO」

<https://www.asahi.com/relife/special/kaigo/> <https://nakamaaru.asahi.com/series/11032055>



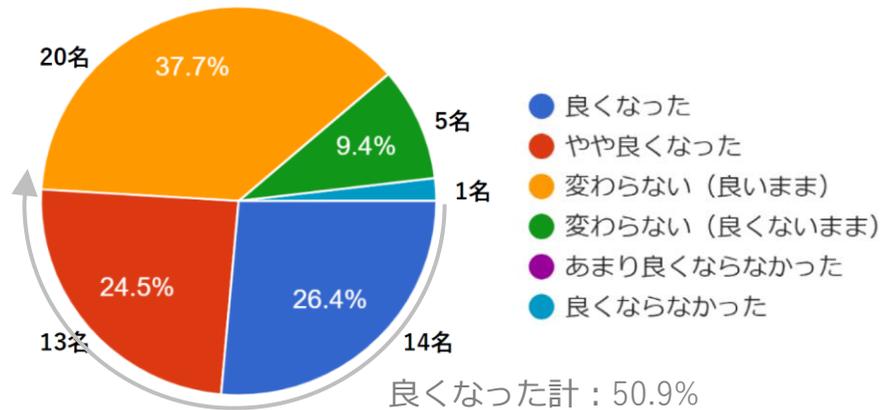
なかまある告知記事

朝日新聞全国版朝刊全5段（1月1日掲載）

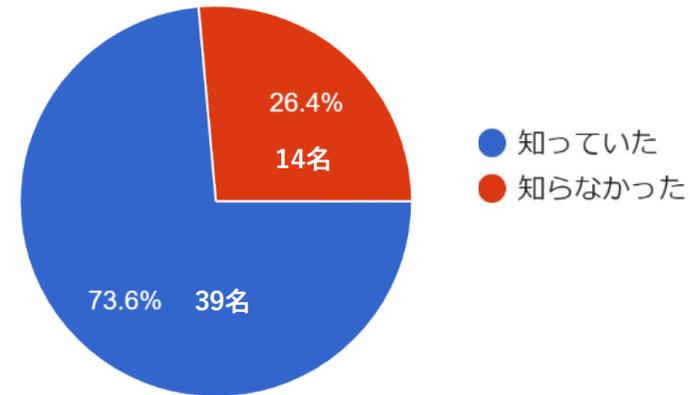
オンラインイベントの実施

● 第2回朝日カルチャーセンター講座 アンケート結果

Q. 今回のプログラムをご覧になって介護の仕事に対するイメージに変化はありましたか



Q. あなたは介護の周辺業務を知っていましたか



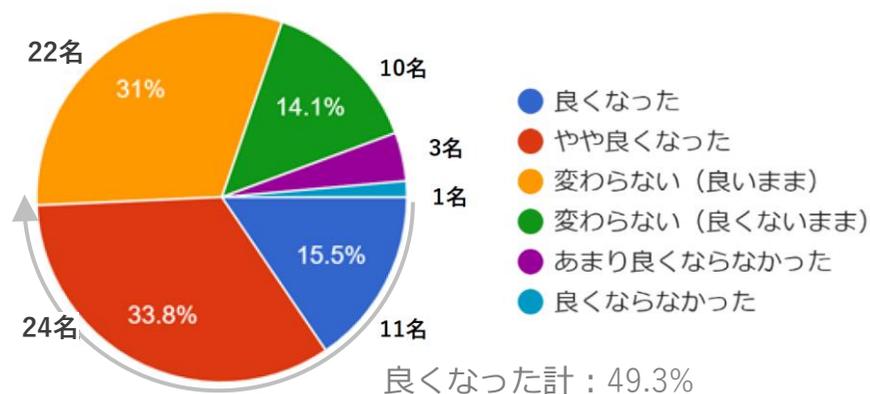
自由記述抜粋

- 実際に地域で活動されている方のお話だったので分かりやすかった。
- 今後の自分たちの世代がこの職種には必要なのだという事が分かった。
- 介護と言うと専門職の学校で学んで一通り実習を受けなければ周辺業務もできないのかと思っていました。**介護のハードルが下がりました。**
- 講師の方が楽しそうにご経験を話してくださったのでこちらも楽しく聴かせていただきました。私にも何かできることから始めたいと思いました。ありがとうございました。
- **自分の生活経験を社会に役立たせる事ができる。**
- 70歳からのデビューは難しいかな？という思いと、周辺業務なら大丈夫？との思いが交錯する。
- 介護人材が少ない中、周辺業務のできる人材を生かした仕事を施設内や地域で生かしていけたらいいと思いました。
- **身近に介護を体験しないと介護の世界に入り難い。**地域デビューをしてみずは「新友」を作るところから始めれば良い。

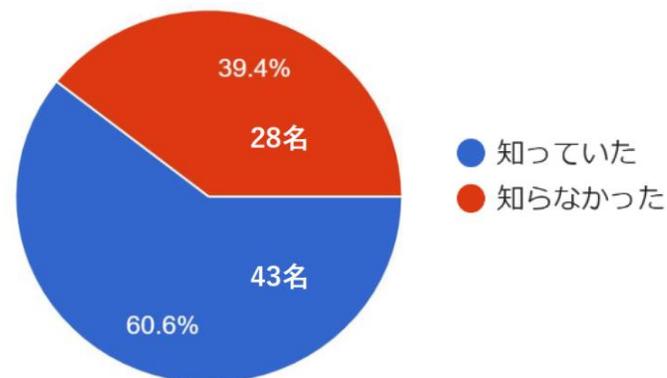
オンラインイベントの実施

● 第3回朝日カルチャーセンター講座 アンケート結果

Q. 今回のプログラムをご覧になって介護の仕事に対するイメージに変化はありましたか



Q. あなたは介護の周辺業務を知っていましたか



自由記述抜粋

- “得意”を高齢者施設で生かす…4つのポイント、大変参考になりました。
- **自分にできることがもしかしたらあるかもという希望を持たせてくれました。**
- 介護の仕事について理解が深まった。介護というと身体的な補助などがイメージとしてあったので。
- 自分の好きなことを生かしながら社会に役立つ活動があることを知り、改めて関心を持ちました。
- 気負わずに福祉や介護の仕事ができることを知りました。講師の高本さんのご自身の経験やご趣味を生かして後見されている方がいらっしゃると、**介護のお仕事のイメージも変わり身近に感じられます。**このようなセミナーを各自治体や学校、企業などでも開催してほしいです。
- 今後益々介護を必要とする人が増えるので、何か関わることがあればと思う。
- **まだ介護に携わるには壁を払拭できない。**
- 私にとっては、**福祉は重いイメージなことは変わりありませんが、積極的に関わる方の話を伺い、少し興味を持ちました。**

オンラインイベントの実施

● 第4回朝日カルチャーセンター講座

日時	2021年2月8日 14:00～15:00
テーマ	アクティブシニアのためのライフプラン
講師	認定NPO法人Link・マネジメント理事 木村 誠さん、定食屋きまぐれ店長 尾田 淳さん
告知	朝日カルチャーセンターTwitter、Facebook投稿 朝日新聞デジタルメールマガジン送付82,000通×2回発信 なかまある告知記事
事前登録数	405件
参加者数	223件

[PR]「アクティブシニアのためのライフプラン～お金の備えから地域のつながりまで～」
 フィナンシャルプランナーであり介護福祉士でもある木村誠さんにアクティブシニアのためのライフプランを学びます。
 後半では認知症の人たちがもてなす定食屋さん「定食屋きまぐれ」の店長尾田淳さんも交え、地域とのつながりの実践例を伺います。
 オンラインでご自宅から簡単に、なんと、無料でセミナーにご参加いただけます。

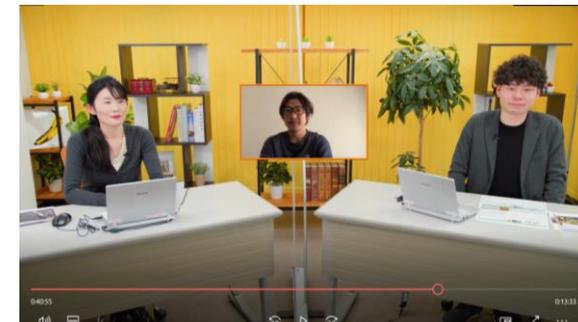
配信期間 : 2021年2月8日(月) 14時～15時
 申込締め切り: 2021年2月4日(木) 23時59分

▼登壇者やセミナー詳細をチェックする▼

<http://links.email.asahi.com/els/v1/z9pAMRPNyEHp/Tct1RWQ4WIRNdUzWR3pXN2xGWEJuREN6ajUxSFZTMWV3NUhJK3RXeGZsRHJibWx4ayswaUZCeVpTQ0VoZkxaVG53TitmUFBSWTJRMVg0YVR0NmFJdjhSUYU1Sc0WYzHRVd2ZRRVpnWndBR2M9S0/>
 (朝日カルチャーセンターの公式サイトに遷移します。)

主催: 朝日新聞社メディアビジネス局・厚生労働省補助事業
 本プログラムは介護のしごと魅力発信等事業～ターゲット別魅力発信事業(アクティブシニア層向け)～として実施しています。

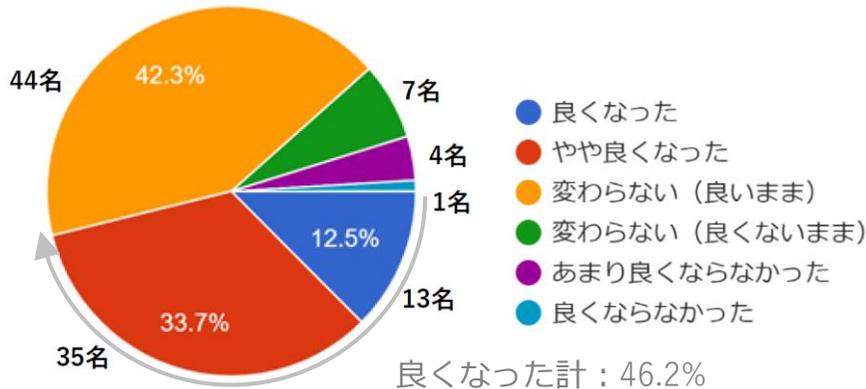
※このメールは、これまで朝日新聞社グループのサービスを利用、またはイベントやキャンペーンなどに参加、申し込みされた方にお送りしています。
 ※以下は朝日新聞社メディアビジネス局のお知らせ(PR)です。
 本メールに関する問い合わせは、下記「朝日新聞社 介護のしごと魅力発信事業事務局(朝日カルチャーセンター内)」までお願いいたします。
 朝日新聞社



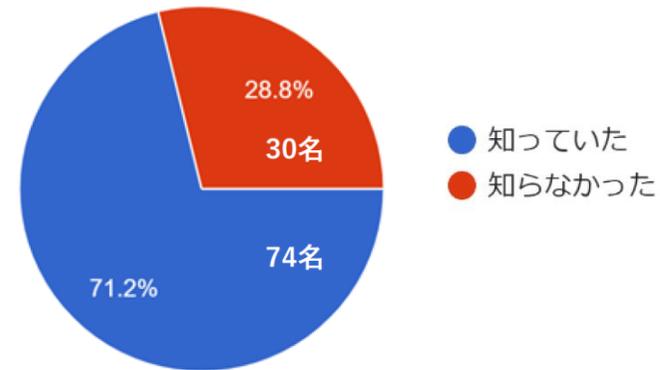
オンラインイベントの実施

● 第4回朝日カルチャーセンター講座 アンケート結果

Q. 今回のプログラムをご覧になって介護の仕事に対するイメージに変化はありましたか



Q. あなたは介護の周辺業務を知っていましたか



自由記述抜粋

- 大変勉強になりました。社会、福祉、介護と関わっていこうと思いました。
- **若い経験ある経営者が活躍していることで、明るい介護を感じられた。**
- 介護の仕事には「周辺業務」というものがあることに興味を持ちました。高齢の方もこの仕事に関わっていらっしゃるということで、高齢でもできる仕事があることを知り、希望をもちました。
- **介護の仕事に対する敷居が低くなりました。**
- サラリーマンを退職し、隠居生活10年ほどになり、今は自分の趣味にどっぷり浸っている毎日です。できれば地域とつながりを持ち、地域に役立てることはないかと最近は思っています。
- 尾田さんの取組と話す内容が非常に入ってきやすかった。狭い地域の中で人と人とがもたれかかっているような何かを私もやりたいと強く感じた。
- **介護は聞いただけでは理解できない。体験が必要なことをもっとPRすべき。**

オンラインイベントの実施

● 第5回朝日カルチャーセンター講座

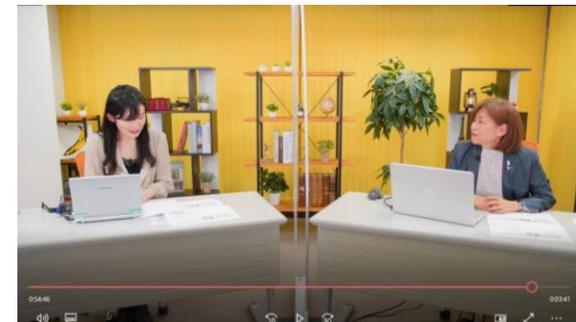
日時	2021年2月22日 14:00～15:00
テーマ	セカンドキャリアとしての福祉・介護の仕事
講師	シニアライフアドバイザー 松本 すみ子さん、未来をつくるkaigoカフェ 高瀬比左子さん
告知	朝日カルチャーTwitter/Facebook告知投稿 講座受講者（1～4回目まで）にDMメール送付 Re ライフメールマガジン送付34,000通発信
事前登録数	225件
参加者数	120件

《PR》オンライン講座「セカンドキャリアとしての福祉・介護の仕事」～人生100年時代をいつまでもいきいきと過ごすために～【主催：朝日新聞社メディアビジネス局】
人生100年時代、福祉・介護の仕事で新たな生きがいを見つけてみませんか？シニアライフアドバイザーを講師に迎え、仕事の魅力と可能性を伺います。
2月22日（月）14時～、Zoom無料配信。2月18日（木）締め切り。
https://www.asahiculture.jp/page/kaigo?utm_source=relife&utm_medium=email&utm_campaign=feb002

2/17Reライフメール



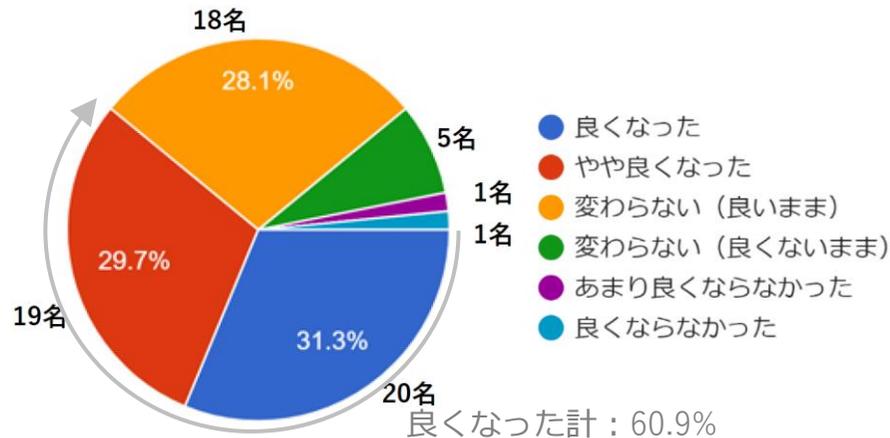
なかまある告知記事



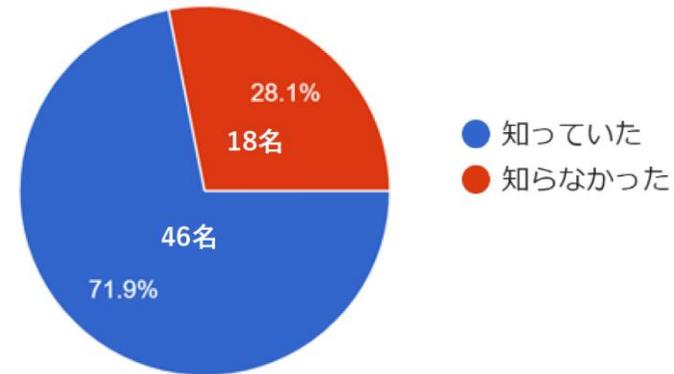
オンラインイベントの実施

● 第5回朝日カルチャーセンター講座 アンケート結果

Q. 今回のプログラムをご覧になって介護の仕事に対するイメージに変化はありましたか



Q. あなたは介護の周辺業務を知っていましたか



自由記述抜粋

- 男性シニアの仕事について実例を交えた説明があり分かりやすかった。
- 何度か講座に参加しているので知っていることも多かったが、非常に分かりやすく説明があり、再確認する形で参考になった。
- 松本先生のお話はこれまで携わって来た仕事の経験やスキルが訓練を経て介護分野でも生かせることがわかりとても嬉しく自信ができました。高瀬先生の介護業界をより明るく元気と笑顔が溢れる環境にされたいというお気持ちが伝わりました。
- 利用者に年齢が近い人が親しみやすいと聞いたので、**自分の老後の目標の一つになった。**
- **介護という固定観念から離れて、自分のできること、特技から始めて介護に繋げていくことができると気付いた。**
- 個人的に介護業界でのセカンドライフを計画しています。まだ一人で色々考えているのははじめの一步がなかなか踏み出せません。自分が何をしたいか、何をしたくないかを考えることが重要というお話に納得感が高かったです。
- 60代以上の方は介護の情報を仕入れたいと思っています。働いたり、ボランティアで関わったりすることで、良い施設と仲良くなり、自分や家族が納得のいく施設に入れる土台を作る、というようなことはとても興味があるのではないのでしょうか。
- 介護の仕事は怪我をさせてはいけない、と予防線を張っていたが、できること、したいことのお手伝いをすればいいんだと思いました。
- 社会福祉法人で地域にボランティアを募る立場ですが、周辺業務を詳しく説明されているところが非常に分かりやすく、参考にさせて頂きたいと思いました。

マスメディアを活用した情報発信

広くアクティブシニア層に到達する朝日新聞全国版朝刊を活用

Reライフフェスティバルの採録やの採録や介護の就業意向に関する調査結果の中間報告を朝日新聞紙面上で展開。周辺業務を図解し掲載することで、介護や福祉の仕事に対する関心を高めました。

令和2年11月11日（水）
Reライフフェス@home採録

令和3年1月31日（日）
Reライフ読者会議アンケート報告

令和3年2月27日（土）
短編動画の紹介

新田恵利さんと学ぶ福祉と介護のリアル
セカンドキャリアで介護をひらく

これからの介護は、支え合い、地域とつながるの大事

新田恵利さん
株式会社 介護支援センター 代表取締役

田中伸彦さん
株式会社 介護支援センター 代表取締役

町 亞聖さん
株式会社 介護支援センター 代表取締役

Reライフ.net
#CHIPSOKAI GO

ふくしかいご.jp
MAKE SWEET, MAKE FUTURE

日本全国の福祉・介護に関する情報が集まるプラットフォーム

Reライフ with 読者会議
広告特集

アクティブシニアの「職業観」に変化？
定年後は視野を広げて、社会に貢献できる仕事を

定年後の活躍の場は、60~70代の40代前半の活躍の場よりも、収入、やりがい、社会貢献性が高い。仕事の内容も幅広い。人材不足に悩む介護業界は、定年後の活躍の場をさらに広げたい。

Q 定年後、介護、介護の現場で働くことに興味があります。 (グラフ)

興味がある	49%
興味なし	51%

Q 定年後、介護、介護の現場で働くことに興味があります。 (グラフ)

興味がある	49%
興味なし	51%

Reライフ.net
#CHIPSOKAI GO

ふくしかいご.jp
MAKE SWEET, MAKE FUTURE

日本全国の福祉・介護に関する情報が集まるプラットフォーム

Reライフ 人生発表
広告特集

アクティブなReライフ世代が活躍
介護の周辺業務で新しい自分を発見

介護の周辺業務で新しい自分を発見

■この年のKAKO 短編動画11本

3月14日(日)15:00-15:30「人生100年時代の介護のカタチ-これからの働き方-」
元気なスタッフが活躍する介護業界を大特集。田中伸彦さん・中島史哉さんが短編動画を共演します！

Reライフ.net
#CHIPSOKAI GO

ふくしかいご.jp
MAKE SWEET, MAKE FUTURE

日本全国の福祉・介護に関する情報が集まるプラットフォーム

●【到達数】発行部数5,954,336 × 回読人数2.2人 × 3回 = 39,298,617人

マスメディアを活用した情報発信

J-MONITOR調査結果

ビデオリサーチ社が調査主体となり、全国18紙で共同運用している新聞広告の共通調査プラットフォーム「J-MONITOR」調査を実施。広告接触前後の意識変容を確認しました。

Q. 回答者の属性「あなたは何のために働きたいと思うか」

■ 上位3項目

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
生活費を稼ぐため	57.1	68.9	53.5	59.8
生きがいを感じるため	47.6	50.0	50.7	49.4
余裕をもって暮らすため	35.2	58.1	53.5	48.9
健康を維持するため	41.0	45.9	47.9	44.9
様々な人と繋がっていたいため	45.7	44.6	49.3	46.5
社会や地域の役に立つため	39.0	31.4	45.1	38.5
趣味や専門を生かすため	28.6	21.6	16.9	22.4

Q. 広告特集の接触状況と内容の伝達度（4つの指標）

■ 上位3項目

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
広告を確かに見た、読んだ	48.8	59.0	41.9	49.9
内容が理解できた（あてはまる+やや）	83.3	90.2	86.1	86.5
内容に興味を持った（あてはまる+やや）	68.3	71.3	59.0	66.2
内容に好感を持った（あてはまる+やや）	75.8	83.6	70.5	76.6
内容が信頼できる（あてはまる+やや）	80.0	87.7	77.0	81.6

マスメディアを活用した情報発信

J-MONITOR調査結果

Q. 広告に接触しての周辺業務の理解や興味

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
「周辺業務」を以前から知っていた（あてはまる+やや）	35.0	47.5	36.9	39.8
「周辺業務」について理解できた（あてはまる+やや）	84.2	86.9	81.1	84.1
「周辺業務」に興味を持った（あてはまる+やや）	61.7	61.5	46.7	56.6

Q. 広告特集で紹介されている各サイトにアクセスしたいと思ったか

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
Reライフ.netにアクセスしたいと思う（あてはまる+やや）	47.5	56.6	41.0	48.4
ふくしかいご.jpにアクセスしたいと思う（あてはまる+やや）	44.2	45.9	30.3	40.1

マスメディアを活用した情報発信

J-MONITOR調査結果

Q. 福祉・介護の仕事に対するイメージの態度変容（良化）

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
良くなった計（良くなった+やや+変わらない（良いまま））	74.2	77.9	76.2	76.1

Q. 広告特集を見ての感想

■ 上位3項目

	11月11日	1月31日	2月27日	平均
50代・60代の回答数	120	122	124	
あらためて福祉・介護の仕事に注目した	49.2	38.5	34.4	40.7
福祉・介護の仕事の理解が深まった	40.0	45.9	41.0	42.3
福祉・介護の仕事を支援したい	12.5	11.5	8.2	10.7
話題にしたい・誰かに話したい	5.0	6.5	6.6	6.0
福祉や介護の仕事の魅力を知った	5.0	9.0	3.3	5.8
インターネットで調べてみたい	4.2	8.2	8.2	6.9
福祉・介護を仕事の選択肢として考えるようになった	3.3	3.3	4.1	3.6
紹介されている特設サイトにアクセスした	1.7	1.6	0.8	1.4
福祉・介護の職場研修などに参加してみたい	1.7	3.3	0.0	1.7

マスメディアを活用した情報発信

J-MONITOR調査結果

自由記述抜粋

- 介護職というと直接高齢者に携わる人を想像していたが、**経理や事務など自分の経験を生かして支援ができることを知ったのはとてもよかったし参考になった。**（50代男性）
- 福祉や介護の現場は重労働でキツイというイメージしかなかったが、今回の広告によって、周辺業務もあることを知りました。（50代男性）
- 介護の仕事については、全く知識はない。専門業務と周辺業務という言葉すら、知らなかった。周辺業務は年齢や経験知識が必要とされる業務であり、特別な知識が無くても一般の人でもやれるかもしれない。**その分野の情報が世間にあまり知られてない気がする。**（50代男性）
- 今後ますます介護の仕事の重要性、必要性について再確認できた。（60代男性）
- 福祉に携わることが少し身近に感じられた。（60代男性）
- 近い将来、自分が世話にならないとも限らない介護ですが、多彩な業務があり世話になる前に協力できるかなとの思いが沸きました。しかしながら知れば知るほど大変な仕事だと思い、実際に現場で作業されている方に敬意を表します。（60代男性）
- 資格のない自分も周辺業務なら何か出来ることがあるかもしれないと思い、ネット等で調べてみたくなった。（50代女性）
- **以前に比べて介護職に好感を持てるようになった。今後の就職先の候補にしたいと思った**（50代女性）
- 周辺業務という言葉を知った。専門的な知識技術を必要とする業務と専門知識や特別な技術が無くても可能な業務を分けて担当するのはとても有意義なことだと思った。いずれは周辺業務に携われたら良いと思う。（60代女性）
- 自分の資格とは無縁と思っていたが、できることはあるかもしれない。家族の将来のためにも学んでおくのもいいかもしれない。（60代女性）
- この広告特集を見て視野を広げる、地域貢献ができる仕事など、いままでの介護に関するイメージが大きく変わりました。（60代女性）
- 介護の仕事は専門業務だけでなく生活をサポートする周辺業務もあるということを知り、そういうことならば自分も何かかかわることが出来るのではと思う。**これからできることがあるか調べてみたい。**（60代女性）

マスメディアを活用した情報発信

広くアクティブシニア層に到達するBS朝日で特別番組を放送

福祉・介護の仕事のリアルな現場とそこで働くアクティブシニアの活躍、周辺業務を分かりやすく解説する内容の特別番組を制作しBS朝日で放映。アーカイブ動画をReライフ.netに掲載しました。



番組名：人生100年時代の介護のカタチ～これからの働き方～

放送日：2021年3月14日（日）15：00～15：30

※アーカイブ動画を3月31日までReライフ.netに掲載

出演者：田中健さん、中島史恵さん、酒井瞳さん

取材施設：社会福祉法人江寿会 特別養護老人ホームアゼリー江戸川
社会福祉法人ライフの学校 特別養護老人ホーム萩の風

内容：①周辺業務で活躍するシニアのインタビュー

②シニアタレントの周辺業務体験

③介護施設の取組やエッセンシャルワーカーの魅力 など

視聴者数：42,860,000世帯×視聴率0.1%×世帯平均人数2.44人＝10,457,840人



インターネットを活用した情報発信

周辺業務の多様性を表す短編動画の制作

介護現場で働くシニアや周辺業務の仕事内容を紹介する約3分の短編動画を11本制作し、Reライフ.netで公開しました。周辺業務の多様性や、さまざまな働き方があることを伝える内容となっています。



	タイトル	内容
1	記録管理の仕事編	エクセルなどのスキルを生かして、訪問看護のための書類作成や整理、データベースづくり。
2	リネン交換の仕事編	IT業界から転身し、72歳で再就職。介護施設で週2回4時間ずつ、ベッドメイキングに従事。
3	レクリエーションの仕事編	デイサービスの利用者が夢中になれるレクリエーションや、手芸の技を生かした物づくりで活躍。
4	事務の仕事編	社会保険労務士事務所で働いた経験を生かし、訪問看護の会社で事務を担当。
5	DIYの仕事編	デイサービスの利用者が楽しめるDIYを指導。趣味で続けていたことを発揮している。
6	外出支援の仕事編	デイサービスでのリハビリの環境を整えたり、体操を教えたり、散歩の付き添いスタッフとして活躍。
7	掃除の仕事編	マンション管理業務を辞したのち、住宅型の有料老人ホームに再就職。掃除の仕事を担当。
8	経理の仕事編	元銀行マンが小規模多機能型の介護施設に再就職し経理を担当。心の健康も保つ。
9	生活支援の仕事編	夫との死別後、青森から娘のいる東京へ。介護施設で食事の支度や見守り仕事に生きがい。
10	調理の仕事編	居酒屋で培った料理の腕を生かし、住宅型有料老人ホームで食事作りを担当。
11	送迎運転の仕事編	レンタカー会社で働いていたことから、高齢者の自宅と介護施設を行き来する送迎ドライバーに。

インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 特集ページ「これからのKAIGO」 <https://www.asahi.com/relife/special/kaigo/>

Reライフプロジェクトが運営するウェブサイト「Reライフ.net」に特集ページ「これからのKAIGO」を設置。アクティブシニアの興味を喚起するため、著名人を活用した記事を展開するとともに、本年度制作したコンテンツを本ページに集約しました。

	記事	PV数	UU数	動画再生数
1	世代が近い他人だからできること 互いに与え合える介護を目指して (岸本洋子さん)	6,894	5,431	
2	社会から切り離されず、友人も気軽に行き来できる介護の仕組みを (姫野カオルコさん・上)	6,479	5,589	
3	家族まかせの介護をこえて 社会に溶け込み 世代をまたいで (姫野カオルコさん・下)	838	568	
4	「介護」という言葉の重さに、惑わされてはいけない! (綾戸智恵さん)	7,073	6,424	
5	まずは自分でやってみる そこに人が集まってくる (杉良太郎さん)	5,842	5,329	
6	「ありがとう」がうれしくて 福祉・介護の仕事、その魅力とは?	727	391	
7	体力的に不安、親の介護が… 福祉・介護の仕事に踏み切れないわけ	655	374	
8	散歩の同伴、会話の相手、事務の手伝い…「周辺業務」なら私もできる	3,597	3,241	
9	あなたは行動派? 挑戦派? ぴたりくる介護の仕事はタイプごとに異なる	49	22	
10	興味ある仕事、世代や男女で大きな差 仕事を知って関心アップ	17	6	
11	多彩な趣味いかして 介護現場で楽しくお手伝い	259	129	50
12	元気なシニアの講習会で見つけた 自分にもできる支え	220	148	69
13	共に働く私も楽しめて、毎日勉強させてもらってます	145	82	54
14	必要としてくださる場所で、楽しく働いています	212	151	92
15	培ったスキルが生かせ、社会につながっていただける仕事です	187	112	42
16	すべてが学びの毎日 人との関わりを大切にこころを込めて掃除します	80	62	32
17	フレイル予防もかねて いくつになっても自信につながる仕事をしたい	124	88	32
18	「自分にできること」で働くことができ みなさんに元気もらってます	77	63	23
19	亡くなった親や夫にできなかったことを みなさんにお返ししたくて	83	65	17
20	「いつまでもおいしい食事を楽しんで」居酒屋で培った料理の腕ふるう	70	57	43
21	「安全運転」を徹底するため ゆったりとした勤務形態で働いています	100	82	40
22	体と心の健康を大切に 人生100年時代をいきいきと過ごすために	19	16	60
23	みんなで支え合える地域づくり 地域デビューで輝くシニアライフ	16	12	18
24	周りの人とつながるきっかけに 趣味を生かして広がる交流の輪	5	5	14
25	アクティブシニアのためのライフプラン お金の備えから地域のつながりまで	4	4	31
26	セカンドキャリアとしての福祉・介護の仕事	15	12	47
27	新田恵利さんと学ぶ福祉と介護のリアル セカンドキャリアで介護をひらく ※3/31掲載終了	1,093	533	
28	人生100年時代の介護のカタチ～これからの働き方～ (BS朝日アーカイブ) ※3/31掲載終了	279	195	122



●…短編動画

■…朝日カル講座

合計35,159PV

インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

1 世代が近い他人だからできること
互いに与え合える介護を目指して



2 社会から切り離されず、友人も
気軽に行き来できる介護の仕組みを



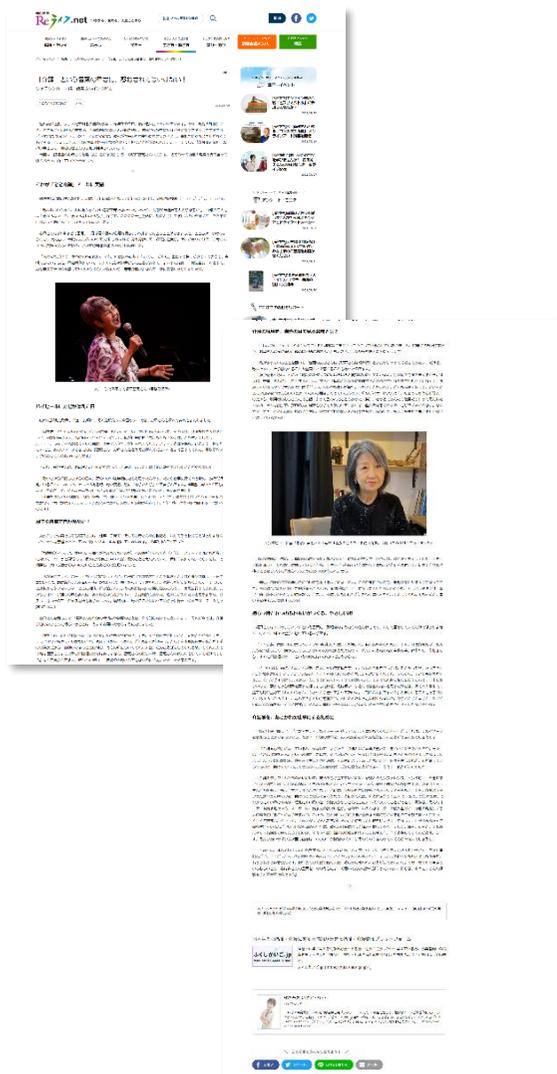
3 家族まかせの介護をこえて
社会に受け込み 世代をまたいで



インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

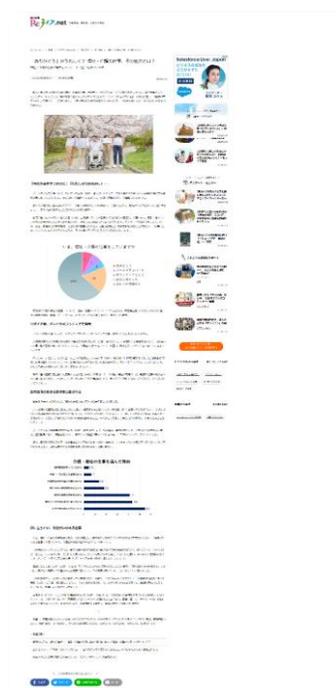
4 「介護」という言葉の重さに、
惑わされてはいけない！



5 まずは自分でやってみる
そこに人が集まってくる



6 「ありがとう」がうれしくて
福祉・介護の仕事、その魅力とは？



インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

7 体力的に不安、親の介護が...
福祉・介護の仕事に踏み切れないわけ

This screenshot shows the top portion of an article on Reライフ.net. It features a header with the site logo and navigation tabs. The main content area includes a large image of a caregiver assisting an elderly person in a wheelchair. Below the image, there are several sections of text, a pie chart titled '福祉・介護の仕事に踏み切れない理由' (Reasons for not starting work in welfare/care), and a bar chart titled '介護の仕事に踏み切れない理由' (Reasons for not starting work in caregiving). The page layout is clean with a white background and blue accents.

8 散歩の同伴、会話の相手、事務の手伝い...「周辺業務」なら私もできる

This screenshot displays the middle and bottom sections of an article on Reライフ.net. It contains several data visualizations: a pie chart titled '介護の仕事に踏み切れない理由' (Reasons for not starting work in welfare/care), a bar chart titled '介護の仕事に踏み切れない理由' (Reasons for not starting work in caregiving), and another bar chart titled '介護の仕事に踏み切れない理由' (Reasons for not starting work in caregiving). The text is organized into columns, with images of people engaged in various activities interspersed throughout.

9 あなたは行動派? 挑戦派? ぴたりくる
介護の仕事はタイプごとに異なる

This screenshot shows the bottom portion of an article on Reライフ.net. It features a large table with multiple columns and rows of data, likely a comparison of different job types or characteristics. Above the table, there are several smaller charts and graphs, including a pie chart and a bar chart. The text is dense and organized into columns, with a focus on providing detailed information to the reader.

インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

10 興味ある仕事、世代や男女で大きな差
仕事を知って関心アップ

11 多彩な趣味いかして
介護現場で楽しくお手伝い

12 元気なシニアの講習会で見つけた
自分にもできる支え

介護現場で働きたい? (世代別)

	50代	60代	70代
興味ある	4.5	5.8	2.8
興味ない	8.3	5.9	0.7
どちらでもない	37.1	31.4	41.7
興味あるけど	22.0	33.9	23.6
働きたくない	28.0	22.9	22.2

介護現場で働きたい? (性別別)

	50代	60代	70代
興味ある	27.8	33.8	31.3
興味ない	35.2	25.9	21.5
どちらでもない	31.6	24.6	23.8
興味あるけど	30.7	21.7	20.1
働きたくない	14.8	18.1	20.2
興味あるけど	7.1	15.1	13.2
働きたくない	18.0	12.5	7.9
興味あるけど	14.9	8.7	11.1
働きたくない	16.4	18.2	15.1

多彩な趣味いかして 介護現場で楽しくお手伝い

「趣味、好きな字の活字遊びです。多彩な趣味いかして、介護現場で楽しくお手伝い。そのお話を伺ったのは、介護現場で働く方たちです。趣味を活かして、介護現場で楽しくお手伝い。そのお話を伺ったのは、介護現場で働く方たちです。

元気なシニアの講習会で見つけた 自分にもできる支え

「元気なシニアの講習会で見つけた、自分にもできる支え。そのお話を伺ったのは、講習会に参加した方たちです。元気なシニアの講習会で見つけた、自分にもできる支え。そのお話を伺ったのは、講習会に参加した方たちです。

インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

13 共に働く私も楽しめて、毎日勉強させてもらってます



14 必要としてくださる場所で、楽しく働いています



15 培ったスキルが生かせ、社会につながっていただける仕事です



インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

16 すべてが学びの毎日 人との関わりを大切にここを込めて掃除します



17 フレイル予防もかねて いくつになっても自信につながる仕事をしたい



18 「自分にできること」で働くことができ みなさんに元気もらってます



インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

19 亡くなった親や夫にできなかったことを
みなさんにお返ししたくて

20 「いつまでもおいしい食事を楽しんで」
居酒屋で培った料理の腕ふるう

21 「安全運転」を徹底するため
ゆったりとした勤務形態で働いています



インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

22 体と心の健康を大切に 人生100年時代をいきいきと過ごすために



23 みんなで支え合える地域づくり 地域デビューで輝くシニアライフ



24 周りの人とつながるきっかけに 趣味を生かして広がる交流の輪



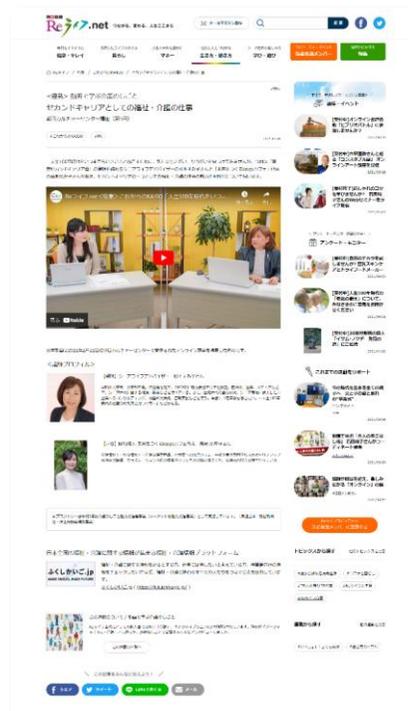
インターネットを活用した情報発信

Reライフ.net 掲載記事

25 アクティブシニアのためのライフプラン
お金の備えから地域のつながりまで



26 セカンドキャリアとしての
福祉・介護の仕事



インターネットを活用した情報発信

なかまある 特集ページ「これからのKAIGO」 <https://nakamaaru.asahi.com/series/11032055>

- 福祉にまつわるウェブサイト「なかまある」に特集ページ「これからのKAIGO」を設置。
- Reライフ.netはアクティブシニア本人向けの情報発信を行う一方、なかまあるでは介護現場・行政等の実践例を紹介する記事を掲載しました。
- 未来をつくるkaigoカフェと連携し、「周辺業務・介護助手の新たなネーミングを考えるワークショップ」を開催。周辺業務を分かりやすくアピールし、多くの人に興味を持ってもらうために、全国の介護関係者など15人が集まり、アイデアを出し合いました。その様子をなかまあるおよび朝日新聞で広く発信しています。



記事		PV数	Yahoo!	LINE	スマートニュース
1	80歳まで働ける 中高年で介護の世界に飛び込む人材を支えるポイントは？	10,100	22,768	502	3,815
2	自宅での自立生活支えるから面白い ホームヘルパー宮本慶子さんの52歳の選択	9,473	507	12	1,016
3	早期退職後のリスタート 介護を通じた「地域貢献」で気づいた大切なこと	8,872	23,318	22	1,996
4	地域密着で利用者も職員も掘り起こし 川崎「ひつじ雲」の好循環を支えるひみつ	8,020	2,190	29	0
5	高齢独居の急増社会を支える「市民後見人」求む！ 先進地・志木市の挑戦と課題	8,136	4,805	6	79
6	地元の元気な高齢者を「介護助手」に採用 介護老人保健施設「いこいの森」の戦略	10,148	46,739	226	3,961
7	「周辺業務？」「介護助手？」やりがいや誇りを持って働いてもらうには…… 新たなネーミング考えました	9,499	1,955	24	2,042
8	男の介護経験のいかし方 妻のがんをきっかけに生涯現役で働けるヘルパーの仕事に出会えた	11,790	28,515	70	218
9	日本全国の福祉・介護情報プラットフォーム「ふくしかいご.jp」のご紹介	6,972	0	0	0
10	健康だから働くのではなく、健康のために働く「就労トライアル」 介護人材確保を支援する宝塚モデル	10,578	2,481	86	418
合計		241,388PV			

インターネットを活用した情報発信

なかまある掲載記事

1 80歳まで働ける 中高年で介護の世界に飛び込む人材を支えるポイントとは？

2 自宅での自立生活支えるから面白い ホームヘルパー宮本慶子さんの52歳の選択

3 早期退職後のリスタート 介護を通じた「地域貢献」で気づいた大切なこと



インターネットを活用した情報発信

なかまある掲載記事

4 地域密着で利用者と職員も掘り起こし
川崎「ひつじ雲」の好循環を支えるひみつ

This screenshot shows a website article with a header image of a group of people. The main text discusses the 'Hitsuji Cloud' (ひつじ雲) project in Kawasaki, highlighting how it creates a virtuous cycle by supporting both users and staff through local engagement. The article includes several sub-sections with images and text blocks.

5 高齢独居の急増社会を支える「市民後見人」
求む！先進地・志木市の挑戦と課題

This screenshot displays an article about the increasing number of elderly living alone in Saitama City (志木市). It introduces the role of 'Citizen Guardians' (市民後見人) and discusses the challenges and opportunities in this advanced region. The article features a central image of two people and several smaller images illustrating community support.

6 地元の元気な高齢者を「介護助手」に採用
介護老人保健施設「いこいの森」の戦略

This screenshot shows an article about the strategy of a nursing care facility, 'Iko no Mori' (いこいの森), which employs local, healthy elderly people as care assistants. The article includes a large diagram at the bottom showing a pyramid structure representing the facility's strategy, with 'Local elderly' at the base and 'Nursing care' at the top.

インターネットを活用した情報発信

なかまある掲載記事

7 「周辺業務?」「介護助手?」やりがいや誇りを持って働いてもらうには……新たなネーミング考えました



8 男の介護経験のいかし方 妻のがんをきっかけに生涯現役で働けるヘルパーの仕事に出会えた



インターネットを活用した情報発信

なかまある掲載記事

9 日本全国の福祉・介護情報プラットフォーム「ふくしかいご.jp」のご紹介

10 健康だから働くのではなく、健康のために働く「就労トライアル」介護人材確保を支援する宝塚モデル



インターネットを活用した情報発信

掲載記事への誘導

Reライフ.netおよびなかまあるへの記事誘導を行うため、アクティブシニア向けにメールマガジンを配信しました。

[PR]今、介護現場ではアクティブシニアの力が必要とされています。あなたも介護の現場に飛び込んでみませんか？

[http://links.email.asahi.com/els/v2/G86acmr8yah2/M1IKendXZIJyQmVrRzZPWEROuzZDSzZIMS
\(Reライフ.netに遷移します。\)](http://links.email.asahi.com/els/v2/G86acmr8yah2/M1IKendXZIJyQmVrRzZPWEROuzZDSzZIMS<trTGRud3U4b3B6VkrOYnVwcUowWFirUUI3SUhBSUE4WTdVZ1I0TEYrnbV6dFJ3WmJDSndGN25ib2tvQk1aRGkzVitlcGdwb1dCMjArNENDOXM9S0/)

専業主体：朝日新聞社メディアビジネス局（厚生労働省補助事業）

※このメールは、これまで朝日新聞社グループのサービスを利用、またはイベントやキャンペーンなどに参加、申し込みされた方にお送りしています。
※以下は朝日新聞社メディアビジネス局のお知らせ(PR)です。
朝日新聞社

誰にとっても人ごとではない「介護」。自分の得意な分野で活躍しながら社会貢献もできる介護の仕事は、定年後のセカンドライフの一つとして注目が集まっています。誰もがイメージする「The・介護」とは違った多様なしごとや活躍の場も。Reライフ.netの特集ページ「これからのK A I G O」では、介護の魅力を伝えるコンテンツを配信中です。

- 綾戸智恵さんインタビュー／「介護」という言葉の重さに、惑わされてはいけない！
- 杉良太郎さんインタビュー／まずは自分でやってみる　そこに人が集まってくる
- 新田恵利さん出演動画／新田恵利さんと学ぶ福祉と介護のリアル　セカンドキャリアで介護をひらく
- 読者会議メンバーアンケート／「ありがとう」がうれしくて 福祉・介護の仕事、その魅力とは？
- 介護現場で活躍するアクティブシニアの動画など

▼特集ページ「これからのK A I G O」を見る

http://links.email.asahi.com/els/v2/X6xaBxgp_wTd/M1IKendXZIJyQmVrRzZPWEROuzZDSzZIMStrTGRud3U4b3B6VkrOYnVwcUowWFirUUI3SUhBSUE4WTdVZ1I0TEYrnbV6dFJ3WmJDSndGN25ib2tvQk1aRGkzVitlcGdwb1dCMjArNENDOXM9S0/
(Reライフ.netに遷移します。)

=====

《PR》人生100年時代、福祉・介護の仕事で新たな生きがいを見つけてみませんか？

Reライフ世代にとっても他人事ではない「介護」。今、アクティブシニアの力が期待されています。
綾戸智恵さん、杉良太郎さんらが語る介護の魅力や、介護現場で活躍するReライフ世代の動画を公開中！

【特集ページこれからのK A I G O】

https://www.asahi.com/relife/special/kaigo/?utm_source=relife&utm_medium=email&utm_campaign=mar17

3/17Reライフメール

インターネットを活用した情報発信

ブランドリフト調査

楽天インサイト社のブランドリフト調査を実施し、「Reライフ.net」および「なかまある」の指定記事および記事に埋め込まれた動画の接触者と非接触者における、「福祉・介護のしごと」に対する意識やイメージを比較し、記事の影響を把握しました。

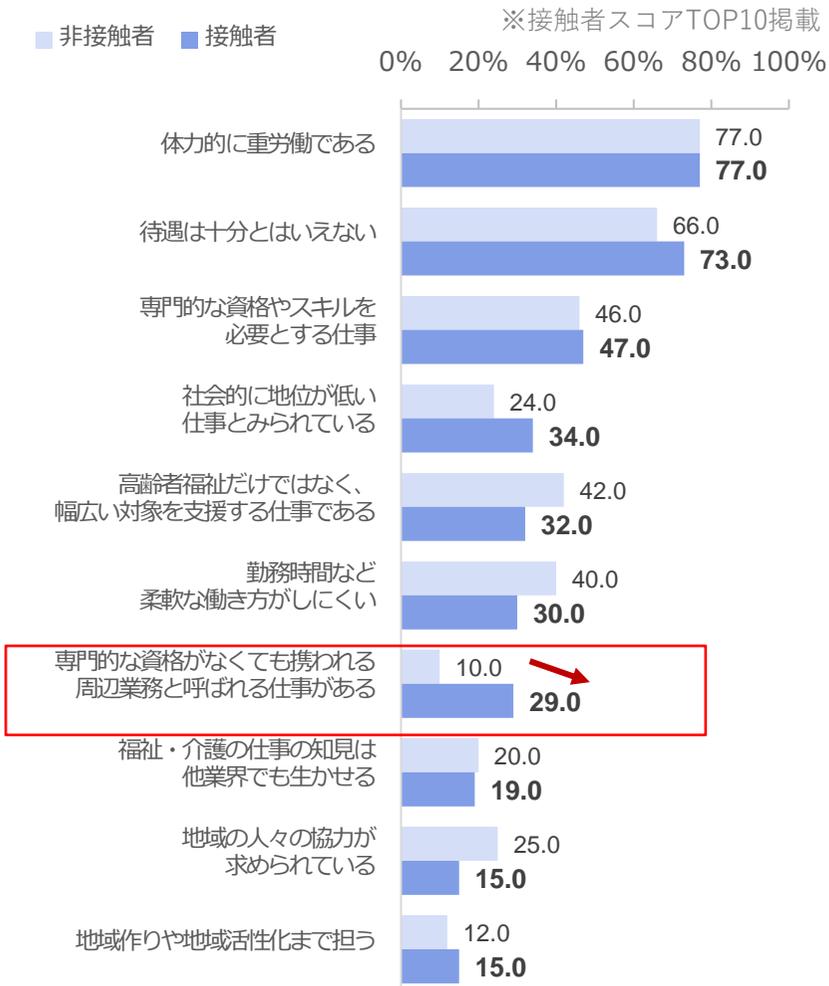
調査手法	インターネット調査																																																												
調査地域	全国																																																												
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50歳～75歳の男女 ・ 該当URLへの接触者／非接触者 																																																												
サンプルサイズ	<p>合計：200ss（接触者100ss、非接触者100ss）</p> <p>※接触者はログの有無により判定 ※性年代の構成比は、総務省統計局2020年労働力調査（2021年1月29日公開）に準じ、接触／非接触者それぞれにおいて以下のように割付</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">■接触者</th> <th colspan="6">■非接触者</th> </tr> <tr> <th></th> <th>50～54歳</th> <th>55～59歳</th> <th>60～64歳</th> <th>65～75歳</th> <th>合計</th> <th></th> <th>50～54歳</th> <th>55～59歳</th> <th>60～64歳</th> <th>65～75歳</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男性</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>50</td> <td>男性</td> <td>13</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>17</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>8</td> <td>16</td> <td>50</td> <td>女性</td> <td>14</td> <td>12</td> <td>9</td> <td>15</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>33</td> <td>100</td> <td>合計</td> <td>27</td> <td>23</td> <td>18</td> <td>32</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	■接触者						■非接触者							50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～75歳	合計		50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～75歳	合計	男性	13	11	9	17	50	男性	13	11	9	17	50	女性	14	12	8	16	50	女性	14	12	9	15	50	合計	27	23	17	33	100	合計	27	23	18	32	100
■接触者						■非接触者																																																							
	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～75歳	合計		50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～75歳	合計																																																		
男性	13	11	9	17	50	男性	13	11	9	17	50																																																		
女性	14	12	8	16	50	女性	14	12	9	15	50																																																		
合計	27	23	17	33	100	合計	27	23	18	32	100																																																		
実施期間	2021年3月15日(月)～3月23日(火)																																																												
実施機関	楽天インサイト株式会社																																																												

インターネットを活用した情報発信

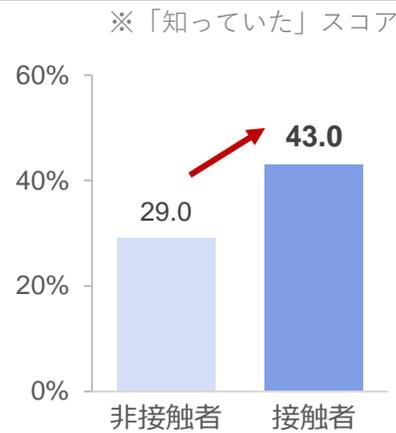
ブランドリフト調査

記事接触者の介護の「周辺業務」の認知率は、周辺業務についての説明提示前後ともに非接触者と比べて顕著に高い。また、介護職・地域貢献に対する意識は、いずれの内容も記事接触者の意向・意欲が高い。業務内容は特に外出やコミュニケーション、施設の事務仕事の手伝いにおいて、非接触者と比べて興味・関心が高くなっている。

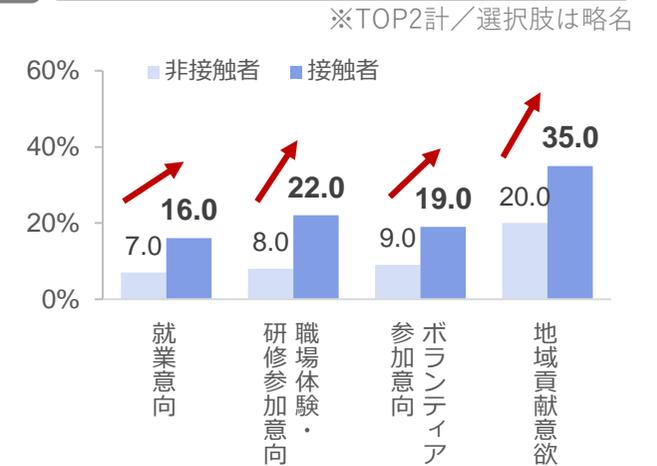
周辺業務についての説明提示前 介護職のイメージTOP10



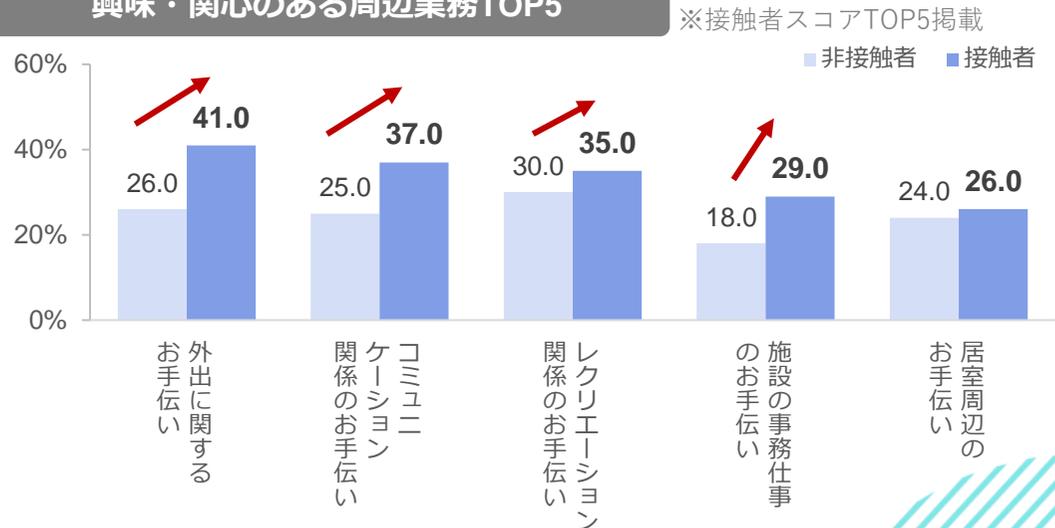
説明提示後「周辺業務」認知



介護職・地域貢献に対する意識



興味・関心のある周辺業務TOP5



インターネットを活用した情報発信

ブランドリフト調査

介護の仕事に対する魅力ワードは、記事の接触に関わらず、“家族や自身に役立つ”が最も高い。接触者は、自身にあった仕事が探せることや、得意なことを生かせることに対する魅力が高い。半年以内の「福祉・介護」行動として、接触者は“ボランティアや手伝い”“情報収集や問合せ”“就業・職場体験”といった行動実施率が非接触と比べて高い。

「介護の仕事」魅力ワードTOP3

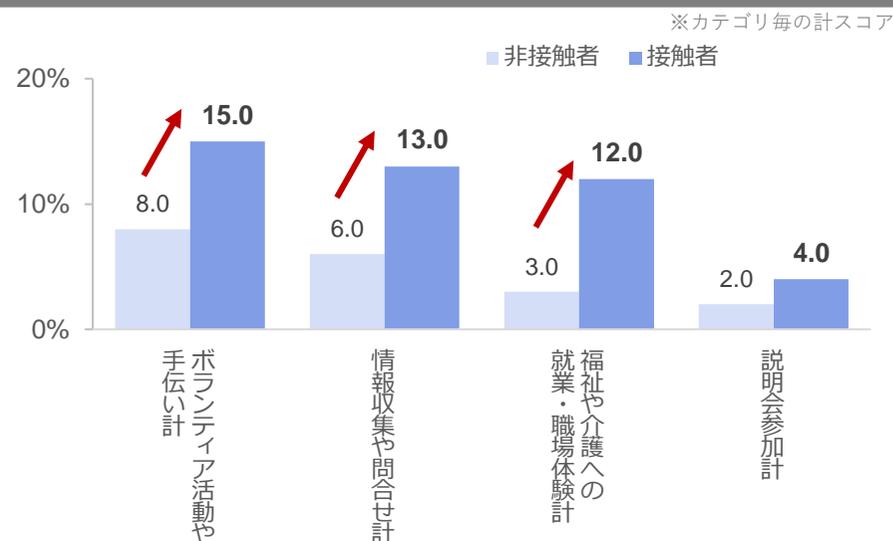
非接触者

TOP	魅力ワード	%
1	介護現場に関わった経験は、あなたの家族やあなた自身の介護にも役立ちます	26.0
2	介護の周辺業務なら、時間や勤務日などが選べ、あなたにあった働き方ができます	25.0
3	介護現場は人手が足りず、あなたにあった仕事が探せます	23.0

接触者

TOP	魅力ワード	%
1	介護現場に関わった経験は、あなたの家族やあなた自身の介護にも役立ちます	34.0
	介護現場は人手が足りず、あなたにあった仕事が探せます	34.0
3	介護の現場には、あなたの得意なことを生かせる仕事があります	31.0

半年以内の「福祉・介護」行動



TOP	接触者の行動TOP3	%
1	福祉や介護の仕事に関する情報収集をした	12.0
2	家族や近所など身近にいるお年寄りのお手伝いをした	10.0
3	福祉や介護の職場でパート・アルバイトをした (している)	9.0

ふくしかいご.jpへの送客

介護の仕事に関心を持ったアクティブシニアをふくしかいご.jpに送客

福祉・介護に関する情報が集まる「情報発信プラットフォーム（ふくしかいご.jp）」と連携し、福祉・介護の仕事に関心を持ったアクティブシニアをふくしかいご.jpへ送客することで、都道府県や市町村の取組への誘導や他事業の効果を高めました。

オンラインイベント・動画



送客



メディア発信



送客



誘導



都道府県や市町村の取組

- 職場体験
- 入門的研修
- 介護分野への元気高齢者等
参入促進セミナー

● 送客数

11/11新聞	221人
1/31新聞	300人
2/27新聞	304人
Reライフ.net	30人
なかまある	649人
合計	1,504人

KPIの達成状況

	クロスメディア広報の到達	イメージスコアの改善	オンラインセミナーの参加人数	ふくしかいご.jpへの送客数
KPIの定義	クロスメディア広報の到達人数	広告を見ての「介護の仕事」のイメージ変化やその後の行動など態度変容	オンラインセミナーの出席者数、アーカイブコンテンツの視聴者数	ふくしかいご.JPへ送客をした数
KPIのカウントの仕方	(1) Webサイト PV数 (2) 新聞 発行部数×回読人数 (3) BS朝日 視聴可能世帯数×視聴率×世帯平均人数	(1) Webコンテンツ インターネット調査 記事接触者と非接触者における意識の比較 (2) 新聞 J-MONITOR調査(50,60代) 広告接触前後の意識変容	(1) Reライフフェス 視聴者数、視聴回数 (2) 朝カル講座 事前登録者数および当日参加者数	(1)Webサイト リンク掲載 (2)新聞広告 QRコード等
KPIのカウントのタイミング	令和3年3月31日	令和3年3月31日	令和3年3月31日	令和3年3月31日
実施結果	(1) Webサイト ①Reライフ.net 35,159PV ②なかまある 241,388PV (2) 新聞 5,954,336×2.2人×3回 = 39,298,617人 (3) BS朝日 42,860,000×0.1%×2.44人 = 10,457,840人	(1) Webコンテンツ ①周辺業務の認知度 非接触29.0⇒接触43.0 ②介護の仕事の就業意向 非接触7.0⇒接触16.0 ③入門的研修等参加意向 非接触8.0⇒接触22.0 (2) 新聞 ①周辺業務に興味を持った 61.7⇒61.5⇒46.7 ②介護の仕事に対するイメージが良くなった計 74.2⇒77.9⇒76.2	(1)Reライフフェス (9月) ①9/21時点 1,466UU/2,561回再生 ②3/31時点 8,359UU/3,351回再生 Reライフフェス (2月) ①2/28時点 1,820UU/計測なし ②3/31時点 11,514UU/3,484回再生 (2) 朝カル講座 (全5回) ①事前登録数1,331人 ②視聴者数 739人	(1)Webサイト ① Reライフ.net 30件 ②なかまある 649件 (2) 新聞広告 ①11/11~17 221件 ②1/31~2/6 300件 ③2/27~3/5 304件

【到達目標の検証】

- 事業全体の到達規模 **約5,005万人**
- オンラインセミナーの参加件数とふくしかいご.jpへの送客数 **22,116人**
- ふくしかいご.jpへの送客数は1,504名確認できているが、ふくしかいご.jpから介護に関する入門的研修、職場体験等の参加件数は現在のところ把握できていない。

【態度変容—「福祉・介護のしごと」認知やイメージの向上等】

- 新聞広告を全3回掲載し効果を測定したところ、広告理解度、周辺業務の理解度ともに各回80%を超える高い結果となった。介護の仕事における周辺業務の認知度は約40%と依然として低いままであり、引き続きの啓発が必要である。広告特集を読んで「周辺業務に興味を持った」と答えた人は全3回平均56.6%、「介護の仕事に対するイメージが良くなった・やや良くなった」と答えた人が平均76.1%と高いスコアとなり、周辺業務の周知と「福祉・介護の仕事の魅力」の側面が認知されたと言える。
- 「Reライフ.net」および「なかまある」の記事接触者と非接触者における「福祉・介護のしごと」に対する意識やイメージを比較したところ、「周辺業務」の認知度は、接触者の方が顕著に高くなった。また、半年以内に「ボランティアや手伝い」「情報収集や問合せ」「就業・職場体験」を実施した割合も接触者が高くなっており、記事が周辺業務への意識や介護の仕事への魅力度に影響を与えていると考えられる。

【今年度事業で得られた成果】

- 今年度はアクティブシニアにおける介護の就業意向に関する調査を実施した。介護の現場で働きたいかという設問に「あまり働きたくない」「働きたくない」が合わせて約半数であった。周辺業務の存在を知っていると答えた人は約4割であった。調査内で周辺業務について例示したのちに、改めて「介護の現場で働きたいと思うか」を尋ねたところ、「あまり働きたくない」「働きたくない」は約3割に減り、「働きたい」「まあ働きたい」は約1割から約3割に増加した。周辺業務という業務区別の概念と、多様な働き方・関わり方を理解することが興味・関心につながったものと思われる。周辺業務の理解促進は非常に重要であり、引き続き啓発を行っていく必要がある。また本調査結果はReライフ.net上に掲載しており、業界団体や自治体等の積極的な活用を促していく。
- 介護現場で働くシニアや周辺業務の仕事内容を紹介する短編動画、また朝日カルチャーセンターのオンラインセミナー動画についても同様にReライフ.netに掲載しており、Reライフ.netの記事URLにリンクを貼るなど、自治体や施設等の介護人材確保施策として活用いただく。

成果報告 事業の効果

【事業広報のために導入した情報ツールの種類のほか、ツール導入の効果やメリット、デメリット】

情報ツール	効果やメリット、デメリット
<u>Reライフフェスティバル@home</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブシニアを対象にした新聞社主催の既存事業であるため、ターゲット集客効率や参加者の信頼度が高い。 ・オンラインのため遠方からの参加が可能。 ・イベント施策であるため、コロナ禍の状況により、リアル開催／オンライン開催の判断等が直前となる。
<u>朝日カルチャーセンター講座</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者は、学ぶ意欲が高いアクティブシニアが中心で「周辺業務等参加促進」の啓発に適切なターゲット。 ・就業意欲がない方、介護に関心がない方に対しては、ギャップ解消のため、講座の切り口を工夫する必要。
<u>新聞</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・一度に全国世帯、大勢のターゲット層・潜在層に届けることができる。 ・介護の日（11/11）など、日付メディアならではの話題化、紙メディアならではの保管・複数による閲読の効果。 ・本事業で実施したイベントの認知経路として新聞を挙げる方が多く、集客効果が高い。 ・接触を高めるため、イラストや著名人を使った引きの強い紙面構成を検討する必要がある。
<u>BS朝日</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・「感情訴求」ができるテレビ番組による発信は、全国の幅広い視聴者の感性に訴え、理解を深めることができる。 ・アーカイブ配信（インターネット上での二次利用）することでより効果が増す。 ・広く全国世帯へ発信できるものの、視聴率以外の効果測定が難しい。
<u>Reライフ.net</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業ターゲットであるアクティブシニアにオンライン上で訴求することができる。 ・昨年度事業で実施したコンテンツを特集ページ内に格納することでコンテンツの資産化が図れる。 ・URLの共有等により自治体や施設等でもコンテンツを無償で利用できる。 ・情報量に制限がないため内容を深掘り、詳報できる。
<u>なかまある</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業ターゲットであるアクティブシニアとその家族のみならず、認知症の家族や福祉関係者や多く訪れる。 ・編集記事はyahoo!等に外部配信されるので波及効果が高い。
<u>メールマガジン</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント集客等、刈り取り型の施策として効果が高い。 ・より効果を高めるためにメール文面に工夫が必要。
<u>ふくしかいご.jp</u> (世代横断的理解促進事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の福祉・介護の情報が集まる一覧性がある。 ・サイトのコンテンツを制作・格納するだけでなく、サイトを周知し、認知を高める取り組みが必要がある。 ・現状では地方自治体の情報が十分に掲載されているとは言えず、送客しても離脱される可能性がある。 ・ふくしかいご.jpを介して介護に関する入門的研修や職場体験等に参加した人を追跡することが難しい。